

第5回 冬期道路交通確保対策検討委員会

参考資料

令和3年2月3日

目 次

○委員名簿	・ ・ ・ ・ ・ P1
○委員会規約	・ ・ ・ ・ ・ P2
○設立趣旨	・ ・ ・ ・ ・ P3
○大雪時の道路交通確保対策中間とりまとめ	・ ・ ・ ・ ・ P4
○中間とりまとめを受けての取り組み	・ ・ ・ ・ ・ P36
○今冬の気象状況	・ ・ ・ ・ ・ P37
○同時通行止めの事例	・ ・ ・ ・ ・ P39
○事前の呼びかけ事例	・ ・ ・ ・ ・ P40
○今冬的高速道路及び直轄国道の通行止め一覧	・ ・ ・ ・ ・ P42
○令和2年12月関越自動車道集中降雪に関する対応検討会	・ ・ P51

冬期道路交通確保対策検討委員会

委員名簿

- あまの まさし
天野 真志 (株)中央公論新社 取締役社長室長
- ◎ いしだ はるお
石田 東生 筑波大学 名誉教授・特命教授
- かただ としたか
片田 敏孝 東京大学大学院情報学環 特任教授
- くにざき のぶ え
国崎 信江 (株)危機管理教育研究所 代表
- さ の か ず し
佐野 可寸志 長岡技術科学大学大学院 教授
- せきや なおや
関谷 直也 東京大学大学院情報学環 准教授
- ◎：委員長 (敬称略) (五十音順)

<オブザーバー>

- 塩井 直彦 内閣官房副長官補 (事態対処・危機管理担当) 付内閣参事官
- 島田 勝則 内閣府政策統括官(防災担当) 付 参事官 (災害緊急事態対処担当)
- 井澤 和生 警察庁交通局交通規制課長
- 禮田 英一 大臣官房参事官 (運輸安全防災)
- 石田 勝利 自動車局安全政策課長
- 内藤 正彦 水管理・国土保全局防災課長
- 松村 崇行 気象庁総務部参事官 (気象・地震火山防災)

冬期道路交通確保対策検討委員会

規 約

第1条 名称

本会は、「冬期道路交通確保対策検討委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

第2条 目的

本委員会は、大雪に対する道路交通への障害を減らすための具体的な方策など今後取り組むべき課題を検討することを目的とする。

第3条 検討内容

委員会において主に検討する内容は次のとおりとする。

- ・大雪時の道路交通確保に関する事項
- ・その他冬期道路に関する事項

第4条 組織

1. 委員会の委員は別紙のとおりとする。
2. 委員会に委員長を置く。
3. 委員長は、事務局の推薦及び委員の確認により定める。
4. 委員長は委員会を総括する。

第5条 事務局

事務局は、国土交通省道路局環境安全・防災課に置く。

第6条 委員等以外の者の出席

委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、オブザーバーとして参加を求めることができる。オブザーバーは、委員会において、必要に応じて、意見を述べ又は説明を行うことができるものとする。

第7条 議事の公開

会議は、原則として公開とし、議事要旨は、会議後ホームページで公開する。ただし、特段の理由があるときは、会議を非公開とすることができる。

附 則

この規約は平成30年2月26日から有効とする。

平成30年11月1日 一部改正

冬期道路交通確保対策検討委員会

設 立 趣 旨

近年、地方部において顕著である人口減少と超高齢化社会の到来と、それに伴う道路作業の担い手・後継者不足、地方公共団体の財政状況の悪化、特定の時期・地域への異常な降雪への対応など、除雪を取り巻く状況が一層厳しさを増してきているところである。

特に平成30年1月22日からの首都圏を中心とした積雪20cmを超える大雪や、2月4日からの北陸地方を中心とした積雪1mを超える大雪により、幹線道路を中心に、立ち往生車両による大量の滞留車両の発生や、その通行止め解除に時間を要したところである。

また、生活道路においては、除排雪が追いつかず、通勤・通学などの生活交通に多大な影響があった。

こうした大雪による滞留車両の発生や、通行の再開に時間を要することは、経済活動や国民の安全・安心を確保するうえで、喫緊の課題となっており、立ち往生や通行止めを最小化するよう、更なる対応が求められているところである。

そのため、大雪に対する道路交通への障害を減らすための具体的な方策など今後取り組むべき課題を検討することを目的として、当委員会を設置するものとする。

大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ 概要

I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、集中的な大雪※が局所的に発生
 - ※：大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
 - 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっており、大雪時の車両の滞留は、国民生活や企業活動に大きく影響
 - 集中的な大雪時であっても、通常時と比べて自動車の利用台数に大きな変化が見られない
- ➡ 冬期の道路交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況

II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路の早期通行止めに伴い、並行する国道等に車両が流れ込み、大規模な車両滞留につながるケースも多い
- チェーン未装着の大型車による影響が大きい

2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
 - 関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置
 - 除雪優先路線・区間の設定、除雪体制の応援等を実施
 - 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能
- ➡ これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまでの考え方

集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めしないこと」を目標として対応

今後の考え方

道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響を最小化」を目標として対応

IV 大雪時の道路交通確保に向けた新たな取り組み

1. 道路管理者等の取り組み

(1) ソフト的対応

○タイムライン(段階的な行動計画)の作成

- ・関係機関と連携し地域特性を踏まえ作成・合同訓練実施
- ・気象予測精度向上

○除雪体制の強化

- ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築

○除雪作業を担う地域建設業の確保

- ・契約方法の改善・予定価格の適正な設定等

○除雪作業への協力体制の構築

- ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等

○チェーン等の装着の徹底

- ・チェーン未装着の大型車等の通行制限やペナルティ等の検討

(2) ハード的対応

○基幹的な道路ネットワークの強化

- ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、ネットワークを強化

2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

○集中的な大雪時の利用抑制・迂回

- ・主体的な利用抑制に取り組み環境の醸成

3. より効率的・効果的な対策に向けて

○関係機関の連携の強化

- 情報収集・提供の工夫

○新技術の積極的な活用

○集中的な大雪時の需要抑制

- ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
- ・都市部における公共交通機関との連携した呼びかけ

○集中的な大雪時の予防的な通行規制・集中除雪の実施

- ・通行止め基準の検討、リスク箇所の事前把握と監視強化
- ・集中除雪による早期開放

- ・広域的な広報、予告の発表による広域迂回の呼びかけ

○立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応

- ・本線等の速やかな通行止め
- ・沿道施設管理者との連携によるUターン場所の確保
- ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供

○スポット対策、車両待機スペースの確保

- ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
- ・SA・PAの拡張や待避所の整備等

○冬道を走行する際の準備

- ・チェーン等の装備の備え

大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ

平成30年5月
冬期道路交通確保対策検討委員会

目 次

はじめに.....	1
I. 冬期の道路交通を取り巻く環境	2
II. 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み.....	4
1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留	4
2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み.....	5
III. 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換	6
IV. 大雪時の道路交通確保に向けた新たな取り組み.....	8
1. 道路管理者等の取り組み	8
(1) ソフト的対応	8
(2) ハード的対応	14
2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み	14
3. より効率的・効果的な対策に向けて	15
参考 主な大規模滞留・通行止め事例（過去 5 年）	19

はじめに

去る 1 月 22 日から、首都圏では東京都心で積雪が 20cm を上回る 4 年ぶりの大雪となり、首都東京の物流の根幹を担う首都高速道路では、大規模な車両滞留が発生するとともに、その約 7 割が通行止めとなり通行再開に最大 4 日間を要した。

時を置かずして発生した、2 月 4 日からの北陸地方を中心とした大雪では、福井市で昭和 56 年豪雪以来の 37 年ぶりの記録的な大雪であったとはいえ、国道 8 号の福井・石川県境付近において、最大約 1,500 台の車両の滞留が発生し、その通行再開に 3 日間を要し、当該地域の生活や経済活動に多大な影響を与えたところである。

確かに、近年、非常に強い降雪が集中的かつ継続的に発生する等、雪の降り方が変化する一方、特に地方部において顕著である人口減少と高齢化社会の到来や、それに伴う除雪作業の担い手・後継者不足など、除雪を取り巻く環境が一層厳しさを増している。

しかしながら、今回の 2 事例だけでなく、近年、大規模に車両が滞留し、通行再開までに数日間を要したケースが多数発生している。異例とも言える降雪や除雪を取り巻く厳しい環境を考慮したとしても、大雪時、特に、道路交通に甚大な影響を及ぼすおそれのある集中的な大雪時における大規模な車両滞留の発生抑制や通行の早期再開は、経済活動や国民の安全・安心を確保する上で喫緊の課題となっている。

こうしたことから、首都圏及び北陸地方で発生した事象を契機として、冬期道路交通確保対策検討委員会は、これまでの考え方を大きく転換すべき時期に来ているという認識のもと、今後目指すべき大雪時の道路交通確保対策について、平成 30 年 2 月 26 日以降 3 回にわたり議論を重ね、ここに中間とりまとめとして提言する。

この提言をまとめるにあたり、福井県をはじめ、公益社団法人全日本トラック協会、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、一般社団法人福井県建設業協会の方々にヒアリングを実施し、様々な貴重な意見をいただいた。

最後に、本提言が、大雪時における道路交通の確保のための具体的かつ主体的な取り組みに活かされることを強く期待する。

I. 冬期の道路交通を取り巻く環境

近年、24 時間降雪量が多い日が増大する等、非常に強い降雪が集中的かつ継続的に発生している状況が見受けられる。過去 10 年間で積雪の深さが観測史上最高を更新する地点が日本全国で 3 割以上あり、普段雪の少ない地域も含め、記録的な降雪が局所的に発生している。

例えば、去る 1 月 22 日から 23 日明け方にかけて、普段雪が少なく雪に不慣れな地域でもある東京都心では 4 年ぶりに積雪が 20cm を超える降雪となった。

また、2 月 4 日からの北陸地方を中心とした大雪では、福井県において、24 時間降雪量が平地でも 60cm を超える記録的な降雪となり、福井市では昭和 56 年豪雪以来、37 年ぶりに最深積雪が 140cm を超えることとなった。

これまで、大雪時には大雪注意報や大雪警報が気象庁より発表されているが、例えば大雪警報については、普段雪が少なく雪に不慣れな地域である東京都千代田区では 12 時間で 10cm 程度の降雪時に、一方、積雪地域である福井県あわら市では 12 時間で 30cm 程度の降雪時に発表されているなど、大雪の定義は地域によって異なり、また、道路交通に影響を与える雪の量も地域によって異なる。なお、数十年に一度の降雪量となる大雪特別警報は、現時点では発表された事例はないが、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪（集中的な大雪）は全国のどこかで毎年のように発生している。

一方、道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、従来の自宅での食料備蓄や、工場における在庫確保などのスタイルが大幅に変化し、道路交通への依存が高まっており、大雪に伴う道路網の寸断は、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでの品薄・品切れの発生、荷物などの配達遅延、部品の未達による工場生産の中断など国民生活や企業活動に大きな影響を与えている。

例えば福井県では、昭和 56 年豪雪時には県内の乗用車保有台数が約 19 万台であったが、平成 29 年においては約 51 万台と大幅に増加している。また、大型車についても、昭和 56 年豪雪時に全国で約 150 万台であったものが平成 29 年では約 230 万台と大幅に増加している。

また、通信販売の急速な利用拡大等に伴って宅配便取扱個数が平成 7 年度の約 14 億個から平成 27 年度には約 37 億個と大幅に増加しており、出荷 1 件あたりの貨物量は平成 7 年の 2.13 トンから平成 27 年には 0.98 トンになる等、輸送の小口多頻度化が進んでいる。貨物輸送の約 9 割を

トラック輸送が担うなか、このように、物流のニーズの変化に対してトラック輸送が柔軟に対応することで、消費者の生活や企業活動が支えられている。

自動車交通の利用状況をみると、集中的な大雪時であっても通常時と比べて大きな変化が見られない傾向にある。例えば2月4日からの北陸地方を中心とした大雪のケースでは、2月2日の「大雪に対する国土交通省緊急発表」後においても、北陸自動車道（金津 IC～加賀 IC）の断面交通量に変化が見られなかった。

このように、雪の降り方が変化し、厳しい気象状況への対応が求められる中、ライフスタイルの変化に伴い、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方で、集中的な大雪時であってもその行動には変化が見られない等、冬期の道路交通を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっていることから、大規模な車両滞留の発生抑制や通行の早期再開に向けて、降雪状況や地域状況に応じて、より賢く対応していくことが求められる。

Ⅱ. 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

これまで、高速道路や国道等の各道路管理者は、それぞれが管理する道路を出来るだけ通行止めにならないように除雪等の対応を行ってきた。

しかしながら、近年、集中的な大雪時に大規模な車両滞留が繰り返し発生しており、解消までに数日間を要するケースもある。また、高速道路の早期通行止めに伴い、並行する国道等に車両が流れ込むことによって、大規模な滞留につながるケースも多い。

その原因の一つとして、チェーン未装着の大型車による影響が大きいと考えられる。例えば平成 27 年度では、直轄国道において立ち往生車両が 500 台以上発生し、このうち約 6 割が大型車となっていた。特に立ち往生車両の特徴として、冬用タイヤは装着しているがチェーンは未装着である車両が約 9 割を占めていた。

この 5 年間ににおいても、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生しており、チェーン未装着の大型車の件のほか、次のような課題が浮き彫りになっている。

<主な発生事例>

- ① 国道 20 号 山梨県：平成 26 年 2 月
- ② 国道 8 号 新潟県：平成 28 年 1 月
- ③ 米子自動車道（蒜山 IC～江府 IC 間）：平成 29 年 1 月
- ④ 新東名高速道路（御殿場 JCT～長泉沼津 IC 間）：平成 29 年 2 月
- ⑤ 北陸自動車道（金沢森本 IC～小矢部 IC 間）：平成 30 年 1 月
- ⑥ 首都高速道路中央環状線（山手トンネル）ほか：平成 30 年 1 月
- ⑦ 国道 8 号 福井県・石川県：平成 30 年 2 月

<主な課題>

- ・高速道路の通行止めに伴う並行一般道への車両流入対策をすべき
- ・国と高速道路会社等、道路管理者間での除雪の相互支援をすべき
- ・急勾配箇所や過去に立ち往生が発生した箇所等のリスク箇所への対応をしておくべき
- ・立ち往生車両について、早期発見のための監視を強化するとともに、その排出作業への早期着手、迅速な排出に取り組むべき

- ・滞留発生後は、速やかに通行止めを行うとともに、立ち往生車両やドライバー不在の放置車両を道路管理者が排除できるようにすべき。また、降雪に伴い滞留車両の前後左右の積雪に対する効率的な除雪体制を構築すべき
- ・滞留中のドライバーへの物資の支援や情報提供を適切に行うべき
- ・集中的な大雪時には、除雪車等を広域から集めて配備するとともに、広域的な迂回情報の提供を十分行うべき

2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

国土交通省では、異例の降雪が予想される場合、気象庁と連携して「大雪に関する緊急発表」を行い、降雪の状況に応じて不要・不急の外出を控えていただくよう、本省や地方整備局等において記者発表を行うとともに、ホームページを活用して道路利用者に注意喚起を実施しており、テレビ等のマスコミを通じて報道されている。

また、冬期の確実な通行確保のためには、関係機関の間で綿密な情報共有・交換が必要となることから、地方整備局、地方公共団体、高速道路会社、警察等により構成される「情報連絡本部」を地域単位で設置し、関係機関が連携して、除雪作業の状況や交通状況等の共有、除雪路線の調整、道路利用者への情報提供等の取り組みを実施している。

大雪となった場合には、道路管理者は除雪優先路線・区間を設定した除雪計画をもとに、個別路線の降雪予測に対応した除雪を実施するとともに、状況に応じて隣接事務所からの除雪体制の応援や、片側2車線区間の1車線先行除雪等により通行を最大限確保するための取り組みを行っている。特に都市高速道路では、特有の対策として凍結防止剤散布と空ダンプ走行による路面凍結対策を実施している。

さらに、平成26年の災害対策基本法改正により、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能となり、平成29年3月までに約100区間で法適用し、必要に応じて立ち往生車両等の移動を行っている。

これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生していることから、教訓とも言うべき課題が浮き彫りになっているにも関わらず十分に対応できているとは言い難い。これまでの経験を分析し、その成果を十分に活かすべきである。

Ⅲ. 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまで、高速道路や国道等のそれぞれの道路管理者は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めしないこと」を目標として、地域状況に応じた除雪等の対応を行ってきており、通常の降雪時にはこの取り組み自体は重要である。

しかしながら、地域特性から見て異例とも言える集中的な大雪時は、ひとたび立ち往生が発生すると短時間のうちに大規模な車両滞留に発展し、結果として長期間の通行止めに至る場合がある。さらに、最近の雪の降り方の変化もあることから、このような大規模な車両滞留が頻発化しつつある。その際、道路管理者間の連携が不足しており、高速道路の早期の通行止めに伴い、並行する国道等に車両が流れ込むことによって、大規模な滞留に繋がるケースも見られる。

国民の暮らしや社会経済活動が道路を利用した物流に大きく依存している中で、集中的な大雪時に大規模な車両滞留が繰り返し発生していることに鑑みると、従来の対応ではこのような降雪に対して道路交通の確保を適切に行うことが難しくなっていると考えられる。

これらの状況を踏まえ、集中的な大雪時には、道路交通の確保に対するこれまでの自らが管理する道路の通行止めを回避するという考え方を転換し、道路管理者の連携により、最大限の除雪に努めつつ、関係機関はもちろん、道路利用者や地域等に協力を求めながら、道路ネットワーク全体として大規模な車両滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響の最小化」を目標とするべきである。そして、危機的状況という判断のもとでは考え方の転換を空振りを恐れずに行うべきである。

具体的には、道路管理者等は、国民の生活や社会経済活動に影響を及ぼす大規模な車両滞留の発生抑制や通行止め時間の最小化が図られるよう、積雪地域や普段雪が少なく雪に不慣れな地域等それぞれの地域特性等を踏まえ、通常の降雪時における対応にとらわれず、関係機関と連携し、危機管理として道路交通確保に対応すべきである。

その際、道路管理者は、関係機関と連携し、社会経済活動を担う企業等はもちろん、学校等をはじめ地域住民等に対して適切な情報提供を行い、非常時であることの理解と、不要・不急の道路利用を控えることや

出発時間の変更、迂回等について協力を求める必要がある。それを受け、集中的な大雪に対して、社会全体が主体的に対応していく必要がある。

IV. 大雪時の道路交通確保に向けた新たな取り組み

1. 道路管理者等の取り組み

(1) ソフト的対応

タイムライン（段階的な行動計画）の作成

- 大雪時の対応にあたっては、通常レベルの対応から、集中的な大雪に対する危機管理レベルの対応へとモードを切り替えるタイミングがあり、その切り替えには道路管理者の迅速かつ的確な判断が求められる。
- このため、道路管理者は集中的な大雪等に備えて、他の道路管理者をはじめ地方公共団体その他関係機関と連携して、地域特性（積雪地域、普段雪が少なく雪に不慣れな地域等）や降雪の予測精度を考慮し、地域や道路ネットワーク（路線・区間）毎にタイムライン（降雪前、降雪時、滞留発生時等の各段階の行動計画）を策定すべきである。
また、やむを得ず立ち往生が発生した場合も想定し、国は他の道路管理者をはじめ関係機関と連携して合同訓練を実施する等、集中的な大雪への対応に十分備えるとともに、このような訓練等を踏まえタイムラインの整合性を確認し、適宜見直しを図るべきである。
- なお、タイムラインの作成には降雪の予測が大きく影響を与えることを踏まえ、気象庁は気象予測の精度向上を図るべきである。また、タイムラインの検討に資するよう、例えば現行の2日先までの降雪予想の対象期間を3日先まで拡充する等、降雪予測を延長することについて検討すべきである。

除雪体制の強化

<地域状況に応じた除雪体制の強化>

- 首都圏のように普段雪が少なく多くの道路利用者が雪に不慣れな地域では路面の積雪を完全に排除して通行を確保している一方で、積雪地域では路面の積雪を完全には排除せずに圧雪することで通行を確保している等、地域により通行再開時に求めている除雪レベルが異なっている。

このため、道路管理者は、降雪の状況や求める除雪レベル等に応じて、

梯団方式での集中除雪や片側 2 車線区間の 1 車線先行除雪、凍結防止剤散布と空ダンプ走行の組み合わせ等、地域状況に応じて排雪を含む除雪手法の選択や除雪体制の増強を図り、大規模な車両滞留の発生抑制や通行止め時間の最小化に努めるべきである。

- ・ 特に、都市高速道路においては、高架部が多く路肩が狭い等の構造上の特性から、冷却作用により路面の積雪が凍結しやすいことに加え、車両走行時の視認性確保のために区画線が確認できるレベルまでの排雪が必要となるなど、除雪作業が完了し通行止めを解除するまでに時間を要している。この状況を踏まえ、除排雪のさらなる効率化や通行規制の段階的な解除方法の検討が必要である。

＜道路管理者間の協力体制等の構築＞

- ・ 道路管理者がそれぞれ必要な除雪体制を確保すること等はもとより、集中的な大雪が見込まれる場合には、必要に応じて道路管理者間の相互支援により除雪車等を広域的に再配置して集中除雪に備える等、国、高速道路会社、都道府県、市町村の各道路管理者が連携して、集中的な大雪による道路ネットワークの機能への影響を最小化するように準備する必要がある。
- ・ また、国においては、市町村等への除雪の支援を可能とする体制や資機材等を確保する必要性を踏まえ、冬期道路交通確保に向けた計画の策定や訓練の実施、支援活動等を円滑に行うための体制強化を行うべきである。

特に、高速道路とそれに並行する国道との密接な連携が図れるよう、高速道路のインターチェンジと並行する国道を結ぶ地方公共団体管理の道路等については、幹線ネットワークの一部として機能するものであることを踏まえ、地方の要請を受け、必要に応じて国や高速道路会社が除雪を代行できる仕組みを導入すべきである。

その際、除雪車が軽油で稼働していることも踏まえ、製油所、油槽所、港等と中核となるガソリンスタンド（中核 S S）を結ぶ道路の除雪についても予め考慮しておくべきである。

除雪作業を担う地域建設業の確保

- ・ 道路の除雪を担う地域の建設業者等は、今回の北陸地方を中心とした大雪でも、厳しい気象状況の中、難易度の高い除雪作業に不眠不休で取り組み、道路交通の確保に大きな役割を果たしたところである。一方で、

除雪機械の老朽化、自社保有機械の減少、熟練したオペレータの高齢化や減少等、その作業環境はますます厳しい状況にある。地域において引き続き必要な除雪体制を確保するためには、その担い手となる地域の建設業者等の維持・育成が重要であり、国が中心となって、適正な利潤が確保できるように、除雪作業の契約方法の改善（他の工事と一体的な発注、複数年契約等）、予定価格の適正な設定（積算方法の見直し等）、保険の活用等の取り組みを検討すべきである。

地域や民間団体による除雪作業への協力体制の構築

- ・ 国や地方公共団体は、特に積雪地域において集中的な大雪が頻発する中で、除雪を迅速に実施する体制を確保するため、地域や民間団体の積極的な協力を求めるべきであり、道路協力団体制度も活用しつつ、地域コミュニティ毎に除雪業者や地域の消防団・ボランティア団体等で構成される地域団体（除雪団（仮称））が積極的に除雪作業に参加できる仕組みを検討すべきである。
- ・ また、除雪体制の確保のため、ガソリンスタンド等での燃料等の備蓄の確保や、優先的に除雪車に給油すること等についても検討すべきである。

チェーン等の装着の徹底

- ・ 道路管理者及び都道府県公安委員会は、安全で円滑な交通の確保や車両の立ち往生等の防止を図るため、大雪時には降雪状況や地域特性に応じて、ドライバーに対し冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）やチェーンの装着を徹底すべきである。また、チェーン等の十分な雪道走行装備を強く呼びかけるべきである。
- ・ 特に、集中的な大雪時には冬用タイヤは装着しているがチェーンは装着していない大型車の立ち往生等の発生が大規模な車両滞留の原因となる場合が多いことに鑑み、大雪警報が発表された段階から道路管理者は関係機関と連携し、チェーンを適切に装着せず大規模な車両滞留の原因となる大型車等の通行を制限できる仕組みについて、実効性・公平性にも配慮して検討すべきである。
- ・ さらにチェーン等の装着徹底の実効性を高めるため、例えば、チェーンを適切に装着せず大規模な車両滞留の原因となった大型車等に対し

ては、高速道路の大口多頻度割引の停止を行う等、ペナルティ等の対応を検討すべきである。

集中的な大雪時の需要抑制

- これまで集中的な大雪が予想される時には、「大雪に関する緊急発表」等により、道路利用者に不要・不急の外出を控えることや広域的な迂回、出発時間の変更等と呼ばかけてはいるが、実際に道路利用を控える行動を起こすには十分とはいえない。このため、道路管理者は、関係機関と連携して、多様な広報媒体の活用や、具体的な行動の必要性をより強く訴求する等、情報提供の方法・内容を工夫すべきである。
国や地方公共団体は、特に集中的な大雪時の出控え等について、荷主等を含む企業、公共機関や学校等社会全体のコンセンサスが得られるような取り組みを進めるべきである。
- また、首都圏など公共交通機関が発達した都市部では、公共交通の運行状況も踏まえ、不要・不急の外出を控えること等について、道路管理者は他の機関と共同で呼びかけるなどの取り組みも進めるべきである。

集中的な大雪時の予防的な通行規制・集中除雪の実施

<道路ネットワーク全体の通行止め時間の最小化>

- 道路管理者は、大雪時における道路交通の確保のために、除雪車両の集中配備や複数の除雪機械を用いた梯団方式による除雪作業等により、通行止めをしないように最大限の除雪に努めるべきである。
しかしながら、最善を尽くしたとしても、集中的な大雪により車両の滞留の発生が予見される場合には、道路ネットワーク全体として通行止め時間の最小化を図ることを目的に、車両の滞留が発生する前に、関係機関と調整の上、予防的な通行規制を行い、集中的な除雪作業を実施すべきである。
予防的な通行規制の導入にあたっては、雨量規制のように区間を定め、通行止め基準を明示することを検討する必要がある。

<リスク箇所の事前把握と監視等の強化>

- 道路管理者は、各地域の降雪の特性等を踏まえ、過去に車両の立ち往生が発生した箇所や縦断勾配 5%以上の箇所等の立ち往生等の発生が

懸念されるリスク箇所を予め把握し、予防的な通行規制区間を想定しておくべきである。

- ・ 道路管理者は、リスク箇所についてカメラの情報やSNS等の情報の収集を行い、その監視を強化すべきである。

さらに、より効果的に規制を行うため、代替路の関係にある高速道路や国道等の道路管理者が連携・調整して、降雪や除雪の状況等を十分に把握し共有した上で、それぞれの管理する道路の通行規制の開始時間や区間、通行規制の解除予定時間を設定すべきである。

- ・ また、道路管理者による予防的な通行規制の判断を支援するため、気象庁は積雪の深さや降雪の量の面的な広がりが見えわかる実況情報や、数時間先までに集中的な大雪が予想される場所や時間帯についてのきめ細かな予測情報の提供、降雪予測の精度向上に向けた技術開発を進めるべきである。

＜集中除雪による早期開放＞

- ・ 通行規制を行った場合、一車線を先行して除雪する方法や梯団除雪を実施しながら車両を通行させる方法、高速道路と国道等の並行する道路のうち優先除雪ルートを予め設定した上で降雪や除雪状況を勘案して早期開放する方法等により、道路管理者は予防的な通行規制の早期解除に最大限努めるべきである。

その際、緊急車両や燃料等の生活必需品を運搬する車両等について、道路管理者は関係機関と事前に協議を行い、除雪作業を行いながら限定的に通行ができるような対応も実施すべきである。

＜予防的な通行規制に伴う広域迂回等の呼びかけ＞

- ・ 道路管理者は、予防的な通行規制を実施するにあたっては、空振りとなることを恐れず、ドライバー、運送事業者や荷主に輸送のスケジュールやルートの変更の検討をお願いすべきである。このため、降雪予測等から通行規制を想定して、できるだけ早く通行規制予告を発表すべきである。その際、通行規制の広報範囲を広域的に設定した上で、当該情報が入手しやすいよう多様な広報媒体を活用し、通行止め区間、日時、迂回経路等を適切に示すとともに、その後の降雪予測の変化に応じてきめ細かく予告内容の見直しを行うべきである。

- ・ 特に、貨物輸送等の業務交通が輸送のスケジュールやルートを変更しやすいよう、道路管理者は通行規制情報を運送事業者に直接伝える方

法を整備することやSNS等を活用して、時間帯にも留意しつつ適切に情報提供すべきである。

- さらに、通行規制が解除されるまで待機を希望する車両が発生することを想定し、道路管理者は、必要に応じて長時間の駐車等が可能な施設等への車両の誘導も実施すべきである。

立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応

- 道路管理者は、車両の立ち往生が発生した場合には、長時間の大規模な車両滞留を抑制する観点から、立ち往生発生箇所の手前側で、本線の通行止め、交差点やインターチェンジ等入口部の閉鎖を速やかに行うべきである。
- 道路管理者は、通行止め区間については、迂回を余儀なくされる車両の迂回経路や待機スペースが確保されるよう、関係する道路管理者と情報共有や調整を行いつつ、通行止め区間を適切に設定すべきである。なお、通行止め区間はリスク箇所の事前把握により予め想定しておくべきである。
- 道路管理者は、立ち往生車両を速やかに排除できるように、リスク箇所にレッカー車やトラクタシャベル等の機材を事前配備することに最大限努力すべきである。さらに、スノーモービルや簡易な除雪車の配備、融雪剤の用意等、大規模な滞留に対応するための資機材を地域の状況に応じて準備すべきである。
- 道路管理者は、滞留が発生した場合に滞留車両を速やかに排除するため、リスク箇所の事前把握を活かして、迂回路として活用できる接続する道路を当該道路管理者と予め調整を行い、除雪計画に位置づけておくべきである。また、沿道の物流施設や商業施設に付随する大規模駐車場をUターン場所として活用できるよう、沿道の施設管理者と協定を結ぶことにより、当該駐車場を道路の一部として除雪できるようにする仕組みについて検討すべきである。
- 道路管理者は、車両の滞留が長時間に及ぶ可能性がある場合には、地方公共団体や沿線の商店・コミュニティ等の協力も得つつ、滞留車両に水、食料、簡易トイレ等の物資を適切に提供するとともに、併せて必要な情報提供や状況確認を的確に行うべきである。

(2) ハード的対応

基幹的な道路ネットワークの強化

- ・ 集中的な大雪時においても、道路ネットワーク全体としてその機能への影響を最小限とするため、地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線や登坂車線の設置、バイパス等の迂回路整備等を実施することを通じ、基幹的な道路ネットワークの強化を図る必要がある。

スポット対策、車両待機スペースの確保

- ・ リスク箇所に対しては、カメラの増設や、定置式溶液散布装置、ロードヒーティングや消雪パイプ等の消融雪施設の整備、除雪拠点の新設・更新等、地域の状況に応じたスポット対策を行うべきである。
- ・ また、予防的な通行規制の実施やチェーンの脱着等を円滑に行うため、通行止め時に車両が待機できるスペースとしてSA・PAの拡張や待避所等の整備を行うべきである。

2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

集中的な大雪時の利用抑制・迂回

- ・ 集中的な大雪が予測される場合は、適切な情報提供の下で、国民一人一人が非常時であることを理解して、降雪状況に応じて不要・不急の道路利用を控える等、国民が主体的に道路の利用抑制に取り組む環境を醸成すべきである。
- ・ 具体的には、除雪作業やUターン等による迂回行動の必要性を理解し、積極的に協力するとともに、事業用車両の運行管理者や荷主等も含む企業、公共機関や学校等を含めた社会全体での協力体制を構築する必要がある。これら企業等においては、集中的な大雪時に備えた行動計画（BCP）を策定して主体的に取り組む必要がある。

その際、従来の取引慣行等の見直しを伴うケースも想定されることから、取引相手も含め、社会全体で利用抑制・迂回に対するコンセンサ

スが必要である。

- ・ 普段雪が少なく雪に不慣れな都市部では、大雪により公共交通機関や道路交通の機能が低下し、通勤・通学や帰宅が困難になることが想定されることを踏まえ、企業や学校等はあらかじめ自宅や会社等で待機できる対応を検討しておく必要がある。

冬道を走行する際の準備

- ・ スリップ事故や大型車の立ち往生等が大規模な車両滞留発生の原因となるケースが多いことから、集中的な大雪時にやむを得ず道路を利用する場合には、ドライバーはチェーン等の装備を備えるべきである。これについては、ドライバーだけに委ねるのではなく、業務として車両を運行するのであれば企業が責任をもって対応する必要がある。
- ・ また、気象状況や路面状況の急変があることも踏まえ、冬期の間、ドライバーは車内にスコップや飲食料、毛布、砂、軍手、長靴、懐中電灯、スクレーパー等の準備を行った上で、運転を行うべきである。
- ・ なお、都道府県公安委員会や運送事業者等は、地域の実情に応じ、運転免許の取得・更新時や各種研修等を通じて、また、道の駅やSA・PA等も活用し、大雪時も含め冬期に運転する際の必要な準備について、ドライバーに十分に周知するよう努めるべきである。

3. より効率的・効果的な対策に向けて

関係機関の連携の強化

- ・ 大雪時の対応について、国から地域に至る各層において、政府、地方公共団体、道路管理者、警察、消防、自衛隊等の関係機関が果たすべき役割を明確にし、連携体制を一層充実すべきである。特に、集中的な大雪時の対応について、関係機関が合同で訓練を行い、連携体制について常に確認・見直しすべきである。
- ・ また、自衛隊派遣についてより迅速な対応ができるよう、道路管理者は都道府県や市町村の防災部局との間で要請の手順等を確認する等の更なる連携強化を図るべきである。

- ・ 特に、道路交通への影響が広域的に及ぶ集中的な大雪時は、国土交通省が主導して、情報の共有や優先的な除雪区間の選定等、道路管理者や地方公共団体等の関係機関の連携を図り、主要な幹線道路の交通確保に努めるべきである。

情報収集・提供の工夫

- ・ 道路管理者は、SNS、カメラ動画等の積極的な利活用やトラックやバスをはじめとする道路利用者からの通報システムの構築等により、大雪時の状況把握を迅速に行うべきである。
- ・ また、道路管理者は、ETC2.0、日本道路交通情報センター(JARTIC)、VICS情報、SNS等も活用して、大雪に関する緊急発表、通行状況や通行止めに関する情報、降雪状況が確認できるカメラ動画等が道路利用者に確実に伝わるよう工夫すべきである。
その際、道路利用者や地域全体が専用のポータルサイト等を通じて関連情報を一元的に把握できるような仕組みを導入するべきである。
- ・ 特に、迂回路・代替路情報等についてはドライバーが情報を得られる手段が限られることから、ラジオも積極的に活用するべきである。
- ・ 気象庁は、過去の記録に匹敵する集中的な大雪となっていることを速やかに伝えるなど、危機感が伝わるように情報提供すべきである。

新技術の積極的な活用

- ・ 情報収集・提供の効率化を図るため、AIを活用した交通障害の自動検知・予測システムの開発や、気象予測技術の向上、さらに海外では道路管理者保有の自動車のワイパーやタイヤが気象や道路の情報を把握する技術を活用していることも踏まえ、車載センサーを活用した迅速な状況把握等、ICT等の新技術を活用した取り組みを国が主導して積極的に行うことが必要である。
- ・ また、準天頂衛星を活用した除雪車の自動運転化や、大雪時に自動車の速度を自動的に抑制する技術等、自動車技術等の進展に併せた対応を検討すべきである。
- ・ 地域状況に応じた除排雪手法や局所的な融雪対策等について、国は新

技術の公募・評価を行う等、低コストで効果の高い技術の開発を促進するとともに、新技術に対応した除雪の契約方法や仕様・基準の検討など民間の技術やノウハウを活用することが必要である。

冬期道路交通確保対策検討委員会 委員

あまの まさし
天野 真志

読売新聞 東京本社編集局次長兼経済部長

いしだ はるお
◎石田 東生

筑波大学 名誉教授

かただ としたか
片田 敏孝

東京大学大学院情報学環 特任教授

くにざき のぶえ
国崎 信江

(株) 危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー

さの かずし
佐野 可寸志

長岡技術科学大学大学院 教授

せきや なおや
関谷 直也

東京大学大学院情報学環 准教授

(敬称略)

(◎委員長)

参考 主な大規模滞留・通行止め事例（過去 5 年）

① 国道 20 号 山梨県：平成 26 年 2 月
平成 26 年 14 日早朝から関東各地で雪が降り続き、特に山梨県での最深積雪は、甲府市で 114cm に達し、統計開始以来の極値を更新する記録的な大雪となった。中央道の通行止めに伴い、並行する国道 20 号に交通が集中し、立ち往生を起因とした最大約 400 台の車両の滞留が発生し、解消まで約 5 日間を要した。 ドライバー不在の放置車両対策の強化が課題となり、平成 26 年 11 月に災害対策基本法が改正された。
② 国道 8 号 新潟県：平成 28 年 1 月
平成 28 年 1 月 24 日に北陸地方は強い冬型の気圧配置となった。国道 8 号において、観測史上最大となる 24 時間降雪量 75cm を記録する等、記録的な大雪となった。 これにより、北陸自動車道が最大で約 38 時間の通行止め（柏崎 IC～長岡 JCT 間（上下））となり、並行する国道 8 号では見附大橋付近を先頭に上下線で大規模な車両滞留が発生し、解消まで約 2 日を要した。 道路管理者間での除雪の相互支援やドライバーへの支援といった課題が見られた。
③ 米子自動車道（蒜山 IC～江府 IC 間）：平成 29 年 1 月
平成 29 年 1 月 23 日から 1 月 24 日にかけて、中国地方に強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まったことにより大雪（蒜山 IC：206cm）となり、さらに米子の最低気温がマイナス 4 度にまで下がった。縦断勾配が 5% と厳しい箇所での大型車両の立ち往生に起因した延長約 4km、約 300 台の滞留が発生した。立ち往生車両発生後に通行止めを開始したこと及び通行止め後も予測以上の降雪が続いたこともあり、滞留車両の排除に約 19 時間、通行止め解除まで約 45 時間を要した。 立ち往生車両発生後に実施した通行止めのタイミングの遅れ、滞留車両発生後に強降雪が継続した場合における除雪車両集中投入等の除雪体制の確保といった課題が見られた。

④新東名高速道路（御殿場 JCT～長泉沼津 IC 間）：平成 29 年 2 月 平成 29 年 2 月 11 日にかけて、気温がマイナス 6 度まで急激に低下し、同日午前 2 時までの 3 時間で降雪量 12cm を記録した。御殿場ジャンクションの高架橋（鋼床版）の路面が凍結し、下り勾配箇所でのスリップにより大型車両が自走不能となり、これに起因した延長約 9 キロ、約 1,000 台の滞留が発生した。路温が氷点下であったため、路面凍結の融氷作業に時間を要し、滞留車両の排除に約 11 時間 30 分、通行止め解除まで約 12 時間 30 分を要した。 交通量が多い路線における立ち往生が発生した後の迅速な本線通行止めの実施、リスク箇所における局所的な凍結の防災対応、滞留車両の迅速な排出といった課題が見られた。
⑤北陸自動車道（金沢森本 IC～小矢部 IC 間）：平成 30 年 1 月 平成 30 年 1 月 10 日から 1 月 13 日にかけて北陸地方は記録的な大雪となり、金沢市では積雪 74cm と平年の約 4 倍、積雪 50cm を超えるのも 7 年ぶりという状況であった。上り勾配が急な箇所において、交通事故やチェーン未装着による自力走行不能な大型車の立ち往生が発生し、延長最大約 5km、約 460 台の滞留が発生した。滞留車両の排除まで約 17 時間を要したが、その後も降雪が続いたため、通行止め解除は立ち往生車両発生から約 37 時間後となった。 急勾配箇所等の立ち往生リスク箇所における立ち往生車両の早期発見のための監視の強化・早期対応、立ち往生車両の排出作業への早期着手、強降雪が継続した場合における迅速な排出作業の実施といった課題が見られた。
⑥首都高速道路中央環状線（山手トンネル）ほか：平成 30 年 1 月 平成 30 年 1 月 22 日から 1 月 23 日にかけて、低気圧が本州の南海上を急速に発達しながら東北東に進んだため、首都圏を中心に広い範囲で大雪となり、22 日 10 時から 23 日 1 時までの期間、東京都心の積雪量は最大で 23cm を観測した。大型トレーラが、中央環状外回りの西新宿 JCT 急勾配上り坂（8%）でチェーンが切れたこと等により走行不能となり、最大 12km に及ぶ車両滞留が発生した。通行不能車両の排出、開通待ち車両の排出に時間を要し、山手トンネル内の滞留解消まで約 10 時間を要した。 さらに、首都高速全体で最大約 230km（総延長の約 7 割）の通行止めを実施したが、その後に低温が続いたため除雪に時間を要し、全面通行再開までに 4 日間を要した。 急勾配箇所や過年度立ち往生が発生した箇所等の局所的リスク箇所

への対応(立ち往生車両の発見の遅れを防止する監視体制や融雪設備の充実)、立ち往生が発生した場合の本線・流入ランプの迅速な通行止め、滞留車両の排除作業や除雪作業の迅速化、滞留中のドライバーへの支援といった課題が見られた。

⑦国道 8 号 福井県・石川県：平成 30 年 2 月

平成 30 年 2 月 4 日から 2 月 7 日にかけて、強い冬型の気圧配置が続き、上空 5,000m 付近でマイナス 30 度以下の強い寒気に広く覆われた。北日本から西日本にかけての日本海側を中心に断続的に雪が降り、福井県福井市では昭和 56 年の豪雪以来 37 年ぶりに積雪が 140cm を超える等、大雪となった。北陸道の通行止めに伴い、並行する国道 8 号に車両が流れ込み、チェーン未装着の大型車等の立ち往生を起因とした最大延長約 46km、最大約 1,500 台もの大規模な車両滞留が発生した。また、通行止め後、12 時間で約 40cm の降雪となったことによる車両間の堆雪により、除雪作業は困難をきわめ、滞留車両の排除に 65 時間を要した。

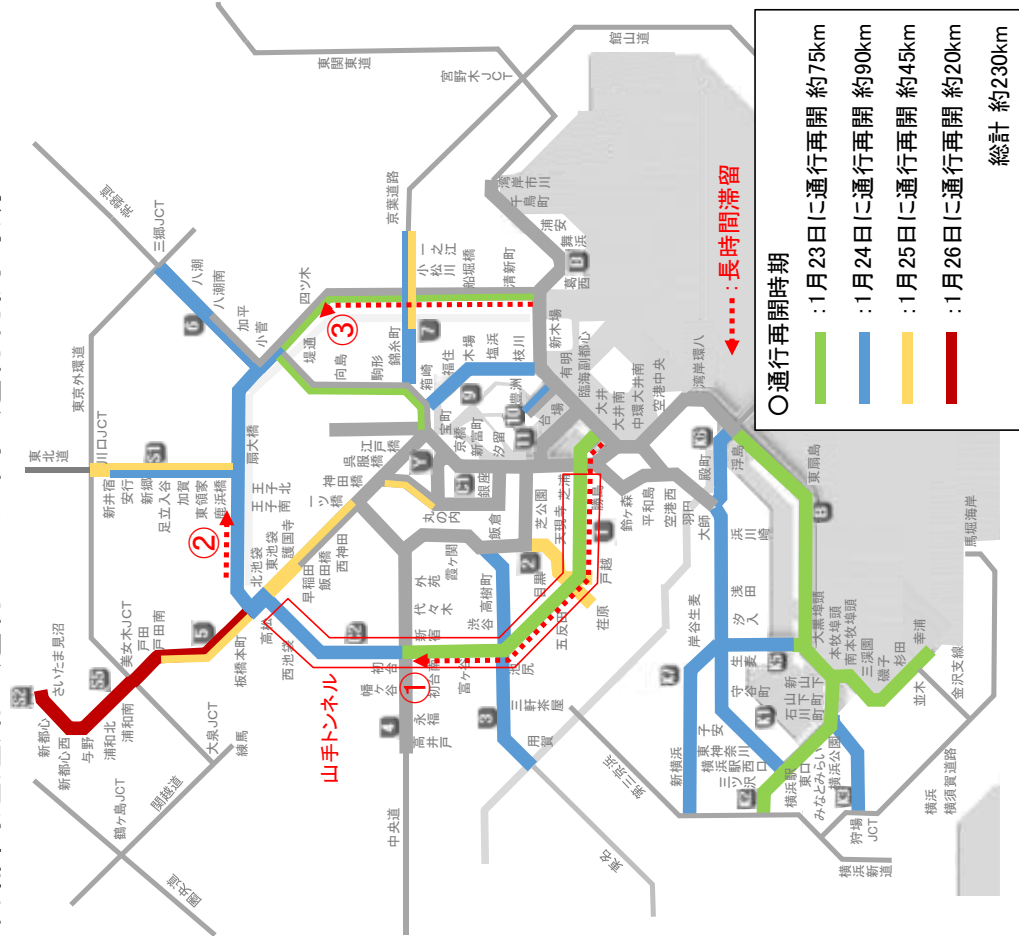
通行止めの遅れや、強い降雪のため滞留車両の前後左右に積雪し除雪車が対応できない、広域的な迂回情報が十分なされていないといった課題が見られた。

この冬の大規模滞留事例と 大雪時の道路交通確保対策の 主な取り組み

首都高速道路における大雪時の車両滞留の発生原因と状況

- 首都高速道路では、1月22日14時より通行止めを開始、総延長320kmのうち約7割(約230km)が通行止めとなり、全面通行再開までに4日間を要した。
- また、中央環状線では3箇所で大規模な車両滞留が発生。

○首都高速道路の通行止め区間と通行再開時期

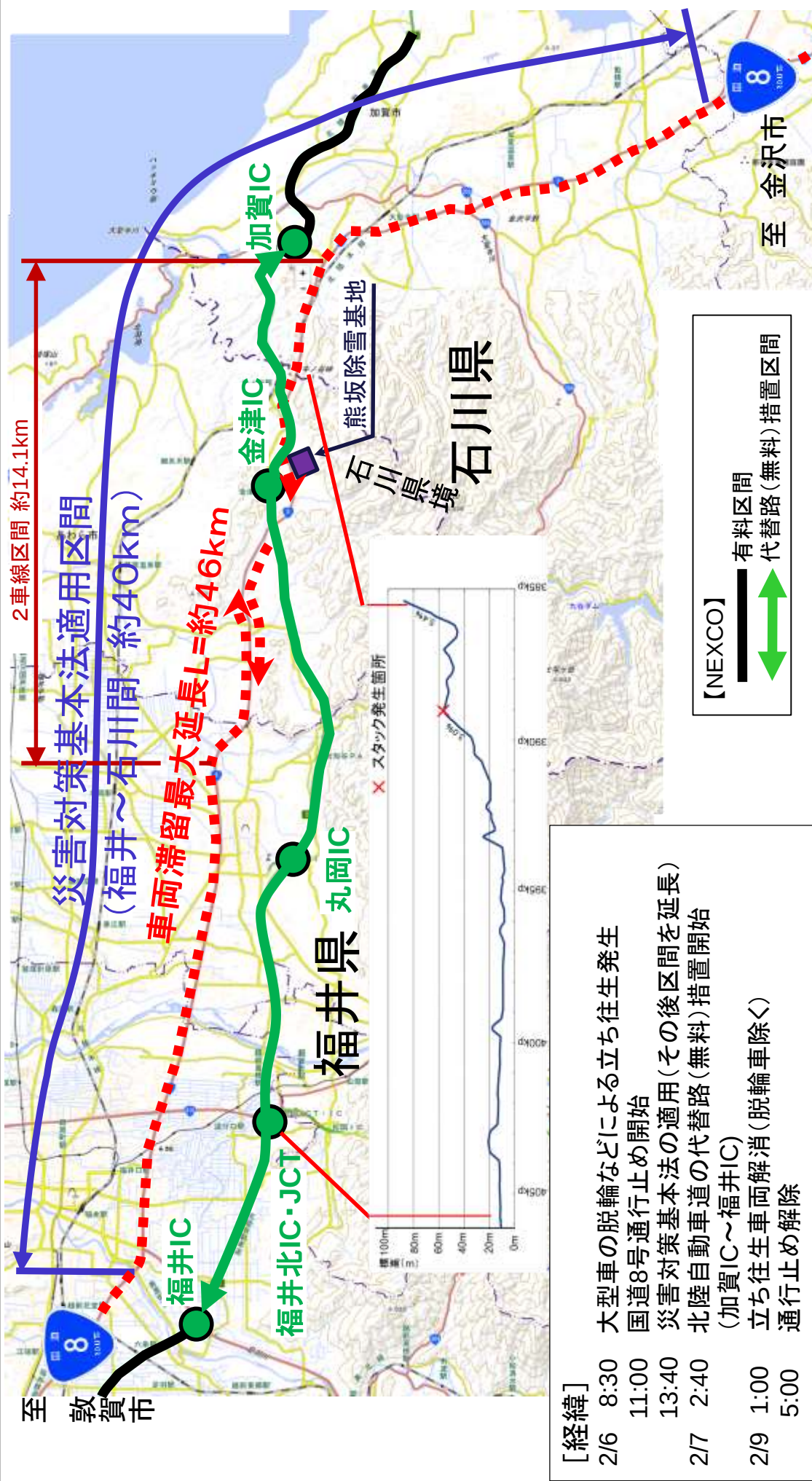


長時間車両滞留発生箇所

- ① 中央環状線(外回り) 西新宿JCT～大井JCT
 【原因】トレーラの立ち往生
 【最大長】約12km
 【滞留時間】約10時間
- ② 中央環状線(外回り) 王子南出口付近～滝野川付近
 【原因】大型車2台の立ち往生
 【最大長】約1.6km
 【滞留時間】約11.5時間
- ③ 中央環状線(内回り) 四ツ木出口～葛西JCT
 【原因】一般道への出口渋滞
 【最大長】約10km
 【滞留時間】約11時間

国道8号における大雪時の車両滞留の発生原因と状況

○5日夜の北陸道の通行止めに伴い並行する国道8号に交通が集中
 ○朝9時頃に発生した大型車の脱輪をきっかけに渋滞が発生する中、6日未明からの激しい降雪によって車両の雪がたまり、自走出来ない車両が発生⇒大規模な車両滞留が発生
 ⇒ **最大滞留車両：約1500台、車両滞留期間：平成30年2月6日8時30分～2月9日1時00分(2日17時間)**



雪に関する表現と主な取り組みの対応範囲(イメージ)

		降雪量(地域事例)		道路管理者等の 主な取り組み(ソフト的対応)の対応範囲(イメージ)	
		普段雪の 少ない地域 [雪に不慣れた地域] (東京都千代田区の例)	積雪地域 (福井県あわら市の例)		
大雪	集中的な大雪	※1 大雪 特別 警報	数十年に1度の ※2 降雪量となる大雪	タイムライン 体制準備・情報共有 チェーン装着車の通行制限 冬用タイヤ等装備の徹底 利用抑制 出控え等の呼びかけ 広域迂回等の 予防的な 通行規制 予告	
	警報級の大雪	大雪 警報	大規模な車両滞留や長時間の 通行止めを引き起こす 恐れのある大雪		
			12時間で ※3 10cm以上 の降雪		12時間で ※3 30cm以上 の降雪
通常 の降雪	注意報級の大雪	大雪 注意報	12時間で ※3 5cm以上 の降雪		
	気象情報	上記に満たない降雪			

※1:大雪特別警報の発表実績なし

※2:大雪特別警報の発表基準

※3:警報・注意報の発表基準の降雪量。発表基準は、地域(市町村単位)によって異なる。
普段雪の少ない地域は東京都千代田区、積雪地域は福井県あわら市(平地)の基準を例として記載。

すべての地域で実施

地域の特性に応じて実施

タイムライン(段階的な行動計画)の作成

- 道路管理者は、集中的な大雪時に備えて、他の道路管理者をはじめ、地方公共団体その他関係機関と連携して、地域特性や降雪の予測精度を考慮し、地域や道路ネットワーク(路線・区間)毎にタイムラインを策定。

集中的な大雪時を想定したタイムライン※¹のイメージ(一例を記載)

時間※2 (目安)	気象台	整備局	国道 事務所	地方 公共団体	高速会社	〇〇	〇〇
2日前 まで	気象情報 解説						
1日前	気象情報 共有 (大雪)	緊急発表 呼びかけ					
半日前～ 6時間前	大雪 注意報	応援・派遣 等準備		除雪開始 除雪体制の強化			
6時間前～ 2時間前	大雪 警報	リエゾン 派遣	市町村長ホットライン 情報提供	リエゾン 受け入れ			
0h 集中的な 大雪の発生		TEC派遣	迅速な 通行止	TEC 受け入れ			
6時間後～ 1日後	気象情報 共有 (見通し)						

立ち往生が発生した場合も想定し、国は他の道路管理者をはじめ関係機関と連携し合同訓練を実施

タイムラインの整合性を
確認し、適宜見直し

※1:各機関においても詳細なタイムラインを作成

※2:降雪強度に応じた詳細な行動計画を策定

気象予測の 精度向上

チェーン等の装備の徹底

- 冬用タイヤのみを装着し、チェーン未装着の大型車等の立ち往生が発生している。
- 実効性のあるチェーン装着による通行制限を実施できる仕組み等を検討する。

【従前の「チェーン装着指導」】

- ・ 高速道路においては、冬シーズン初め頃にチェーン装着を指導(お願い)
- ・ 直轄国道では、登坂不能のおそれがある場合にチェーン装着を指導(お願い)



【今後の「チェーン装着による通行制限」】

- ・ 大雪時には降雪状況や地域特性に応じて、ドライバーに対し冬用タイヤやチェーンの装着を徹底。また、チェーンの装着等の十分な雪道走行装備を強く呼びかけ。
- ・ 冬用タイヤは装着しているがチェーンは装着していない大型車等の立ち往生等の発生が大規模な車両滞留の原因となる場合が多いことに鑑み、チェーン未装着の大型車等の通行制限をできる仕組みを検討。
- ・ さらに実効性を高めるため、チェーン未装着等、大規模な車両滞留の原因となった大型車等に対して、高速道路の大口多頻度割引の停止を行う等、ペナルティ等の対応を検討。

■ 通行制限の方法(イメージ) 【高速道の場合】

通行制限 の段階	降雪量 (降雪状況)	→ 制限開始		
		冬用タイヤ・チェーン 装着の徹底	チェーン装着車のみ走行可※	通行不可
	少ない (通常の降雪)	(注意報級の大雪)	(警報級の大雪)	(集中的な大雪)

【一般道の場合】

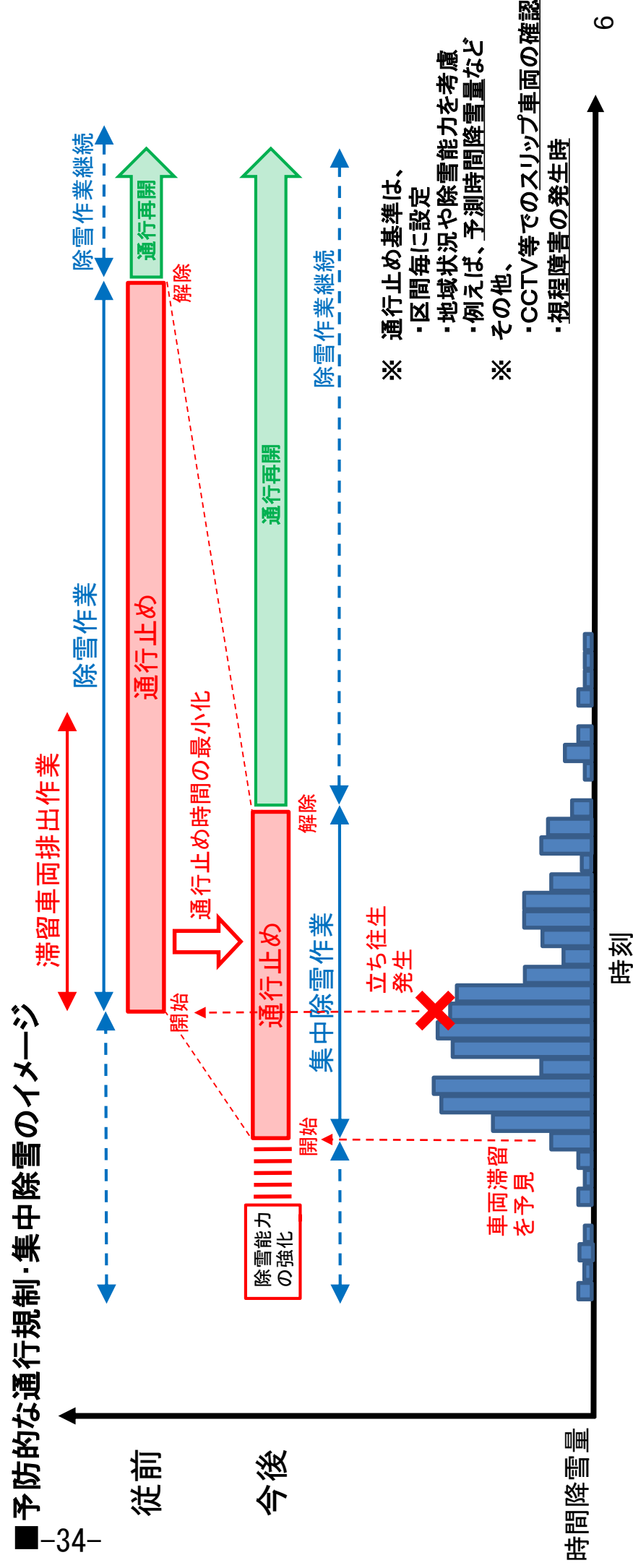
通行制限 の段階	降雪量 (降雪状況)	→ 制限開始		
		(冬用タイヤ装着呼びかけ)	チェーン装着車のみ走行可※ 冬用タイヤ・チェーン装着の徹底	通行不可
	少ない (通常の降雪)	(注意報級の大雪)	(警報級の大雪)	(集中的な大雪)

※大規模な車両滞留の原因となる大型車等

集中的大雪時の予防的な通行規制による集中除雪の実施

○ 予め配備された除雪梯団等により集中除雪することによって早期に通行を再開し、道路ネットワーク全体の通行止め時間の最小化を図る。

- ・ 立ち往生発生リスク箇所を把握した上で区間を想定、雨量規制のような通行止め基準を明示。
- ・ 除雪車両の集中配備や梯団除雪方式など最大限の除雪作業を行うが、最善を尽くしたとしても、集中的な大雪により車両滞留の発生が見られる場合には、降雪の激化に先立ち、関係機関と調整の上、予防的な通行規制を行い、集中的な除雪作業を実施。



予防的な通行規制に伴う広域迂回等の呼びかけ

- 大雪が予想される区域へ通過車両が流入するのを防止するため、通行止めめの予告は広域的に設定。
- 降雪予測などから通行規制を想定して、できるだけ早く「通行規制予告」を発表し、「広域迂回」を呼びかける。その際、通行規制の広報範囲を広域的に設定した上で、多様な広報媒体を活用し、区間、日時、迂回路等を適切に提示、また、その後の降雪予測の変化に応じ、きめ細かく予告内容の見直しを行う。
(※大雪の概ね数日前には国土交通省緊急発表で「不要不急の外出を控える」ことを呼びかけ。)
- 通行止め予告は、特に貨物輸送等の業務交通への確に伝わるよう、通行規制情報を運送事業者に直接伝える方法を整備することやSNS等を活用して、時間帯にも留意しつつ適切に情報提供する。
(なお、高速道路料金は、広域迂回した場合でも割高とはならない。)

★：情報提供箇所

高速道路の情報板における情報提供
【情報提供例】



<参考>

直轄国道の情報板における情報提供

**除雪作業のため通行止め予定
本日〇時より北陸道、国道8号福井市内**

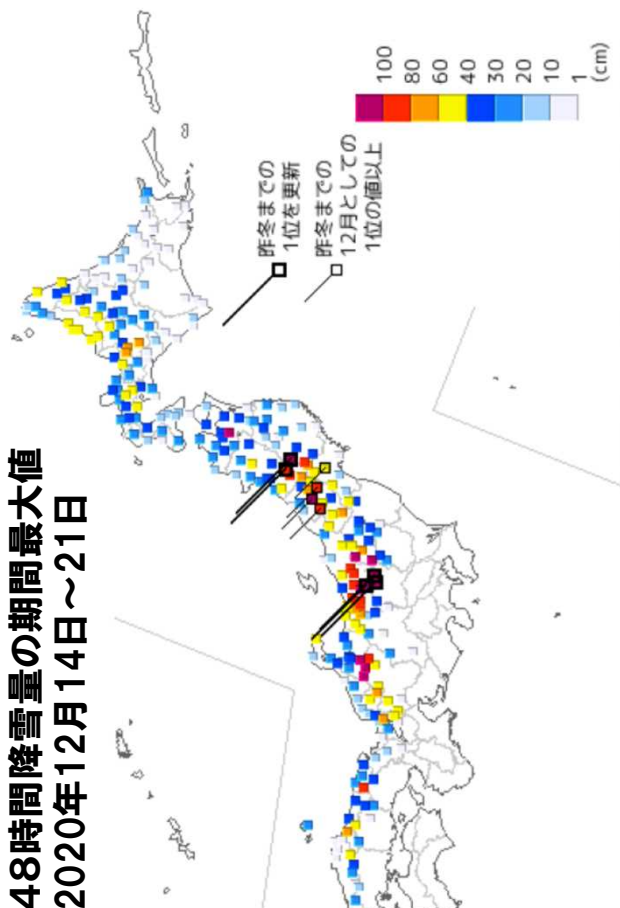


取組内容	実施内容	取り組み状況
(1)ソフト的対応		
関係機関との連携強化	・情報連絡本部を都道府県又は県内ブロック単位で設置 ・道路管理者、警察、気象台、利用者団体等で構成	・全国63組織を設置
タイムラインの策定	・関係道路管理者で合意・策定 ・既往スタック例を参考に発動基準を設定 (ex:時間6cmの降雪予測など)	・各協議会において、路線単位等で100計画を策定
除雪体制の強化	・1～2時間程度で集中除雪に対応した除雪機械配備 ・スタック車両牽引用の機器を各区間に配備	・除雪計画見直し(機器配備等) ・重要インフラ緊急点検の結果等を踏まえて、対策必要箇所を順次整備
予防的通行規制・集中除雪の実施	・関係道路管理者間の協定により相互支援を構築 (ex:ICアクセス区間の地方道など)	・相互支援の協定を締結(協定締結数:25)
チェーン等の装着の徹底	・対象区間を定めて規制・集中除雪の体制を構築	・既往スタック発生箇所又は勾配5%以上の区間を抽出 (直轄国道222区間を設定)
集中的な大雪時需要抑制・迂回	・法に基づくチェーン規制の実施	・13区間を設定
立ち往生が発生した場合の迅速な対応	・大雪緊急発表時(気象庁連携)に外出抑制を呼びかけ、通行止め規制見通しの予告とともに迂回	・大雪の緊急発表等を多様に周知
立ち往生が発生した場合の迅速な対応	・本線の即時通行止め、沿道施設管理者との連携、車両滞留への物資や情報の提供	・自治体危機管理部署も含めた対応 ・沿道施設管理者との連携 (沿道施設管理者との協定締結数:57)
(2)ハード的対応		
スポット対策	・チェーン規制区間を対象として、チェーン着脱場・待機場・情報収集提供装置、規制標識等を設置	・重要インフラ緊急点検の結果等を踏まえて、対策必要箇所を順次整備
基幹的なネットワークの機能強化	・主要国道等の4車線化等を通じネットワークを強化	

令和2年12月14日から21日にかけての大雪

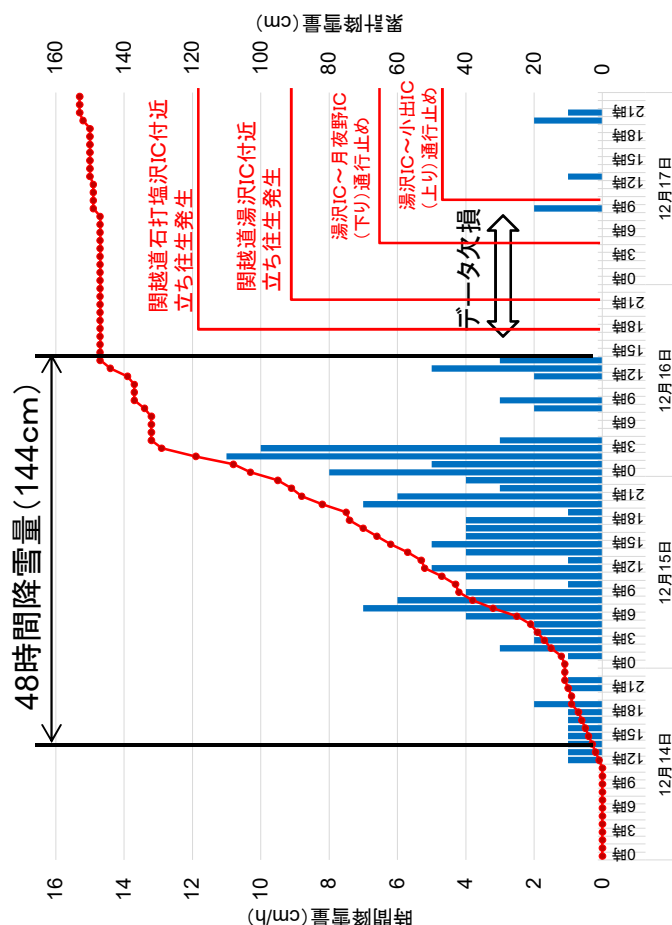
- 12月14日から21日にかけて強い冬型の気圧配置が続き、上空には強い寒気が流れ込続けた影響で、北日本から西日本の日本海側を中心に断続的に雪が降り、関東地方や北陸地方、東北地方の山地を中心に大雪となった。
- 関越自動車道では2000台を超える大規模な立ち往生が発生し、車両の移動及び通行止め解除に2日以上要しました。

48時間降雪量の期間最大値 2020年12月14日～21日



48時間降雪量(アメダス観測値による統計) 5地点

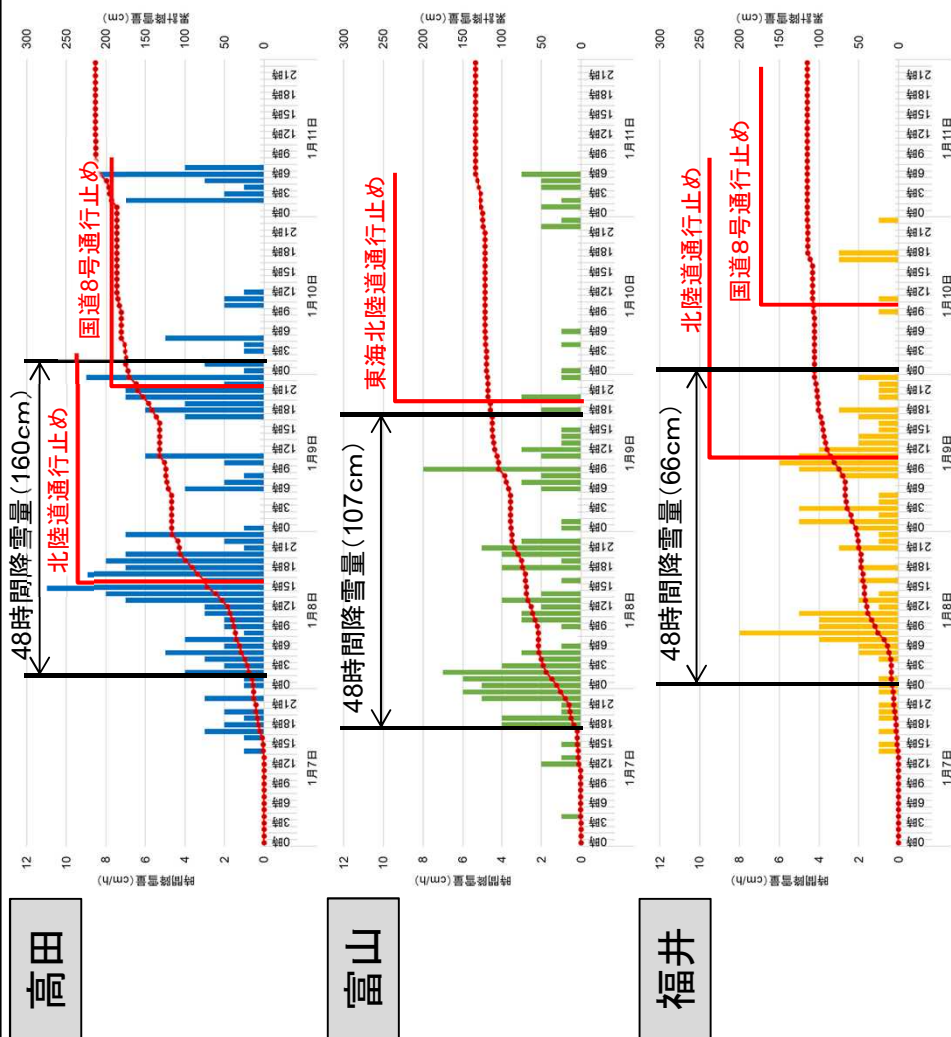
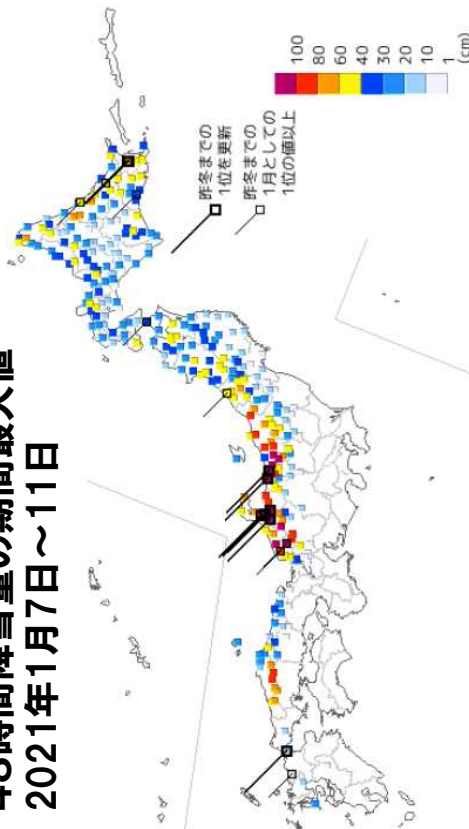
都道府県	市町村	地点	更新した値		昨冬までの1位の値	
			cm	年月日 時分(まで)	cm	年月日
秋田県	横手市	横手(ヨコテ)	87	2020/12/16 09:00	86	2019/12/5
岩手県	和賀郡西和賀町	湯田(ユダ)	122	2020/12/16 06:00	99	2014/1/11
群馬県	利根郡みなかみ町	藤原(フジワラ)	199	2020/12/17 02:00	145	2010/1/2
群馬県	利根郡みなかみ町	みなかみ(ミナカミ)	149	2020/12/17 14:00	118	2001/1/6
新潟県	南魚沼郡湯沢町	湯沢(ユザワ)	144	2020/12/16 14:00	131	2014/12/15



令和3年1月7日から11日にかけての大雪

- 1月7日から11日にかけて強い冬型の気圧配置が続き、上空には強い寒気が流れ込み続けた影響で、北日本から西日本の日本海側を中心に断続的に強い雪が降り、北陸地方を中心に大雪となった。
- 福井県や新潟県においては車両の立ち往生や、北日本から西日本にかけて道路の通行止めが多く発生した。

48時間降雪量の期間最大値 2021年1月7日～11日



48時間降雪量(アメダス観測値による統計) 9地点

都道府県	市町村	地点名(ヨミ)	更新した値 cm	年月日 時分(まで)	cm	昨冬までの1位の値 年月日
北海道	標津郡 中標津町	中標津(ナカシベツ)	68	2021/01/09 10:00	59	2014/12/18
根室地方	標津郡 中標津町	根室中標津	68	2021/01/09 10:00	66	2015/02/03
北海道	根室地方	根室中標津	160	2021/01/10 02:00	121	2010/01/15
新潟県	上越市	能生(ノウ)	143	2021/01/10 06:00	136	1986/02/05
新潟県	糸魚川市	氷見(ヒミ)	85	2021/01/09 16:00	81	2001/01/17
富山県	氷見市	伏木(フジキ)	110	2021/01/09 15:00	90	2018/01/12
富山県	高岡市	富山(トヤマ)	107	2021/01/09 18:00	74	2018/02/07
富山県	富山市	砺波(トナミ)	110	2021/01/09 19:00	93	1994/01/23
富山県	砺波市	下関(シモノセキ)	11	2021/01/09 24:00	4	2018/02/13

三刀屋木次IC

島根県

滞留車約40台

E54松江自動車道
H27セパズ6,200台/24h

国道54号
H27セパズ3,400台/24h

広島県

三次東JCT

国道54号通行止め区間 延長61km

松江自動車道通行止め区間 延長61km

▲E54松江自動車道の状況
(1月7日9時頃)

▲国道54号の状況
(1月7日15時頃)

道の駅 ゆめランド布野

道の駅掛合の里

拡大図

三次東JCT

広島市 (至) 広島市

広島市 (至) 広島市

三刀屋木次IC

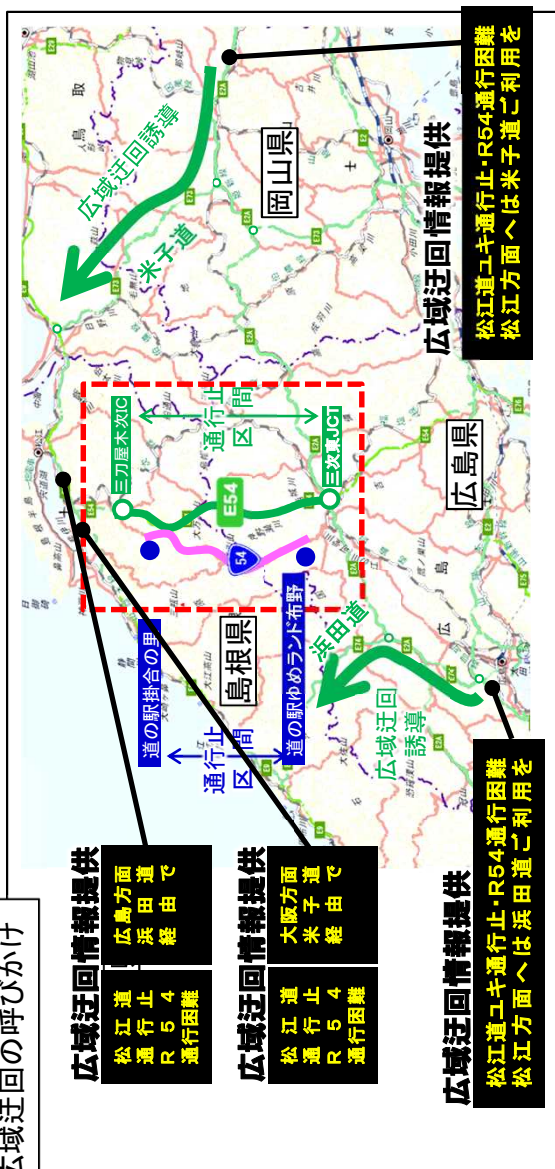
2車線
2車線
2車線

直轄国道
高速道路

<凡例>

通行止め時系列		1月7日						1月8日	1月9日	1月10日
		9時	12時	15時	18時	21時	24時			
国道54号 (道の駅掛合の 里～ゆめランド 布野)	E54松江道 (三刀屋本次～ 三次東)	通行止め								
	立ち往生	11時15分 ↔ 13時00分 立ち往生車章引完了								
	車両滞留	15時30分 車両滞留解消 (上り約40台、下り約260台滞留)								
	通行止め (集中除雪)	16時30分 通行止め 16時30分 ↔ 20時30分 通行止解除 (4時間)								

広域迂回の呼びかけ



○1月7日からの大雪に対して、6日に、国民の向けて、不要不急の外出を控えていただくこと、集中除雪のための予防的な通行規制を実施することなどを呼びかける「国土交通省緊急発表」を実施。

○さらに地方ブロックでも、整備局、運輸局、気象台、高速道路会社が連携して、不要不急の外出を控えていただくことなど、きめ細かく情報提供を実施。

【関係機関と連携した緊急発表】



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和3年1月6日
水管理・国土保全局防災課
大臣官房参事官(運輸安全防災)
道路局環境安全・防災課
気象

Press Release

関係各位
新潟、富山、石川県内
新聞社、テレビ放送局、
ラジオ放送局、各道路管
理者、県市区町村、各業界
団体、警察、「道の駅」

大雪に関する緊急発表
大雪に関する緊急発表

関係各位
(道路に関すること)
国土交通省 北陸地方整備局
道路管理課長 本原 薫(内線4411)
電話 025-280-8880(代表)
(高速道路に関すること)
東日本高速道路株式会社新潟支社
保会課長 豊田 芳博
電話 025-241-5111(代表)
中日本高速道路株式会社金沢支社
NEXCO中日本お客様センター
電話 0120-922-229
(公共交通機関に関すること)
国土交通省 北陸信越運輸局
安全防災・危機管理課副官 吉澤 寛敏
電話 025-285-9000(代表)
(気象の見通しに関すること)
気象庁 新潟地方気象台
気象防災情報調整官 亀井 正久
電話 025-281-5871(代表)

○7日から9日頃にかけて、北日本から西日本の日本海側では平地も含めて、太平洋側では山地を中心に大雪となるおそれがあり、太平洋側の平地でも積雪のおそれがあります。

○7日は全国的に風が強まり、7日から8日にかけて北日本と東日本の日本海側を中心に非常に強い風が吹き、大荒れや猛風が吹き、潮は大しけとなるおそれがあります。特に、東北地方の日本海側では7日頃に風が非常に強まる見込みです。

○大雪や暴風等による立ち往生等に警戒が必要です。不要不急の外出は控えて下さい。

○やむを得ず自動車を運転する場合には、冬タイヤの装着、チェーンの装着及び早めの装着をお願いします。

○降雪状況により、集中除雪による通行止めやチェーン規制を実施する場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。

○公共交通機関においても、大雪等かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。

○最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

大雪に関する緊急発表

関係各位
(道路に関すること)
国土交通省 北陸地方整備局
道路管理課長 本原 薫(内線4411)
電話 025-280-8880(代表)
(高速道路に関すること)
東日本高速道路株式会社新潟支社
保会課長 豊田 芳博
電話 025-241-5111(代表)
中日本高速道路株式会社金沢支社
NEXCO中日本お客様センター
電話 0120-922-229
(公共交通機関に関すること)
国土交通省 北陸信越運輸局
安全防災・危機管理課副官 吉澤 寛敏
電話 025-285-9000(代表)
(気象の見通しに関すること)
気象庁 新潟地方気象台
気象防災情報調整官 亀井 正久
電話 025-281-5871(代表)

○7日から10日頃にかけて山沿い、山地に加え平地でも大雪となり、短時間に降雪が増えるおそれがあります。また、これまでの大雪で積雪が多くなっている所があり、さらに積雪の増えるおそれがあります。

大雪、暴風、猛吹き、吹きだまりによる交通障害に警戒してください。

○外出前の対応として、事前の備え、リスクを避ける行動をお願いいたします。

○不要不急の外出を控えてください。車が立ち往生する場合があります。

○やむを得ず外出を控える場合や、お仕事で車を使用される場合には、最新の気象情報、道路情報を確認して頂くとともに、チェーンの装着(携行)、広域迂回の実態等の通行ルートの見直しにもご協力をお願いします。

○公共交通機関においても、遅延や運休が発生するおそれがあります。今後の公共交通機関の運行情報に注意してください。

▲令和3年1月6日 記者発表資料
(国土交通省)

▲令和3年1月6日 記者発表資料
(北陸地方整備局)

▲事務所twitterによる広報
(長岡国道事務所)

【SNSによる広報】

国土交通省長岡国道事務所
@mit_chokoku

現在、長岡国道管内の各所で登坂不能車が発生し、交通障害が生じています。
今後も降雪が続く見込みのため、不要不急の外出はお控えください。やむを得ず外出される場合は、交通障害に警戒・注意し、チェーンの装着など、冬道の準備を万全に通行ください。

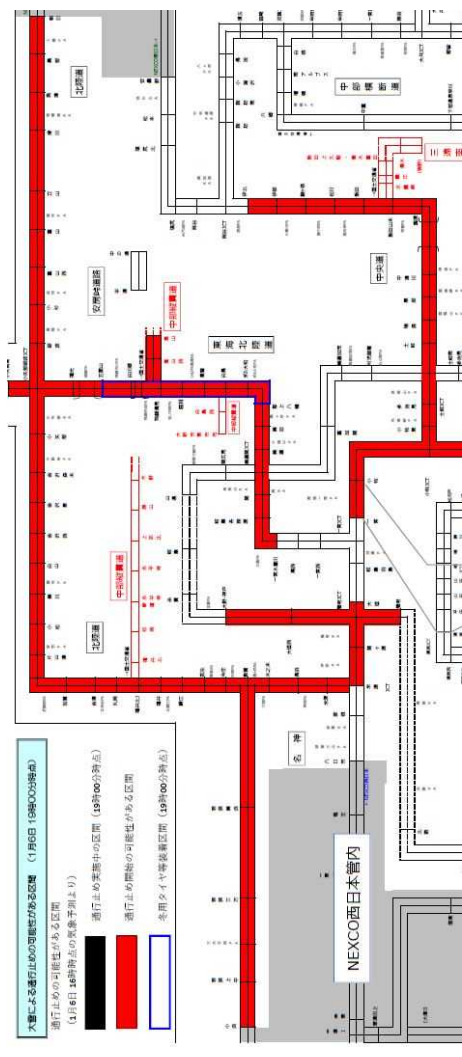
ライブカメラ → live-cam.pref.niigata.jp



- 高速道路会社3社では、大雪による通行止めの可能性がある区間を公表（6時間更新を基本）
- 直轄国道でも、予防的通行規制区間※、2・2・2区間を公表

※予防的通行規制区間：大雪時に集中除雪のため予防的に通行止めを実施する可能性のある区間

【高速道路の通行止め予測】



▲令和3年1月6日 記者発表資料
(中日本高速道路会社)



NEXCO中日本 金沢支社
@c_nexco_kana

【大雪の影響により通行止めの可能性があります】
1月7日（木）から9日（土）にかけて、強い冬の気圧配置により大雪が予測されています
※詳しい区間は添付をご覧ください
※最新の気象・交通情報をご確認ください
(重要なお知らせ) c-nexco.co.jp
(交通情報) c-highway.jp





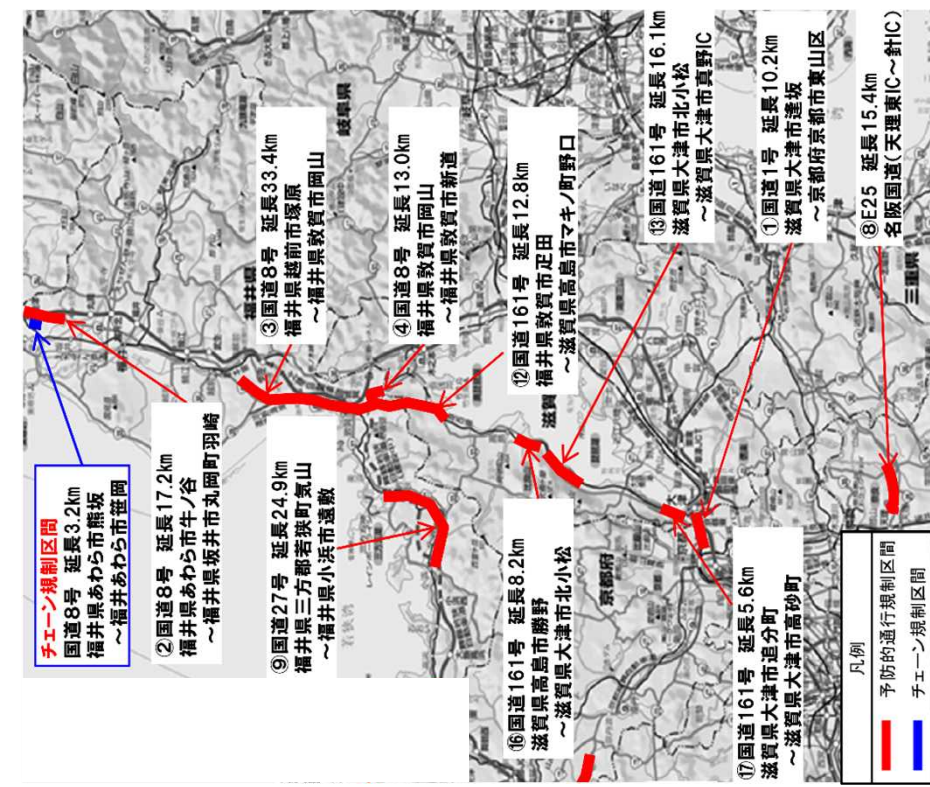
NEXCO中日本 金沢支社
@c_nexco_kana

【大雪の影響により通行止めの可能性があります】
1月7日（木）から9日（土）にかけて、強い冬の気圧配置により大雪が予測されています
※詳しい区間は添付をご覧ください
※最新の気象・交通情報をご確認ください
(重要なお知らせ) c-nexco.co.jp
(交通情報) c-highway.jp



▲令和3年1月5日、6日 Twitterによる広報
(中日本高速道路会社)

【予防的通行規制区間の公表例】



▲令和3年1月6日 記者発表資料
(近畿地方整備局)

12/14～12/17の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
E5	道央自動車道	上下	岩見沢IC	美唄IC	21.2	NEXCO東日本	12月15日	11:20	12月15日	19:40	8:20	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	美唄IC	奈井江砂川IC	13.6	NEXCO東日本	12月15日	11:20	12月15日	16:00	4:40	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	深川IC	旭川鷹栖IC	26.7	NEXCO東日本	12月15日	12:45	12月15日	14:30	1:45	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	江別東IC	岩見沢IC	15.7	NEXCO東日本	12月17日	10:15	12月17日	13:55	3:40	吹雪	0
E4	東北自動車道	上	一関IC	北上江釣子IC	44.5	NEXCO東日本	12月16日	14:40	12月16日	17:00	2:20	予防的通行止め	0
E4	東北自動車道	下	水沢IC	北上江釣子IC	15.4	NEXCO東日本	12月16日	14:40	12月16日	17:35	2:55	予防的通行止め	0
E4	東北自動車道	下	一関IC	水沢IC	29.1	NEXCO東日本	12月16日	14:40	12月16日	17:45	3:05	予防的通行止め	0
E13	東北中央自動車道	上	尾花沢北IC	川原子IC	3.7	東北地整	12月15日	10:34	12月15日	12:48	2:14	交通事故	不明
E13	東北中央自動車道	上	大石田村山IC	尾花沢IC	5.6	東北地整	12月15日	14:10	12月15日	16:07	1:57	立ち往生車両	不明
E13	東北中道自動車道	上下	大石田村山IC	川原子IC	15.6	東北地整	12月17日	9:30	12月17日	17:00	7:30	予防的通行止め	0
E13	東北中央自動車道	上下	須川IC	三関IC	5.5	東北地整	12月17日	20:00	12月18日	6:00	10:00	予防的通行止め	0
E13	東北中央自動車道	上	尾花沢IC	川原子IC	10.0	東北地整	12月17日	21:00	12月18日	0:58	3:58	交通事故	不明
E46	秋田自動車道	上下	北上西IC	湯田IC	21.6	NEXCO東日本	12月16日	1:50	12月16日	16:15	14:25	スタック車両発生	50
E46	秋田自動車道	上下	湯田IC	横手IC	20.3	NEXCO東日本	12月16日	7:30	12月16日	17:00	9:30	予防的通行止め	0
E46	秋田自動車道	上下	横手IC	大曲IC	21.1	NEXCO東日本	12月16日	9:01	12月16日	16:40	7:39	予防的通行止め	0
E46	秋田自動車道	上下	北上JCT	北上西IC	8.7	NEXCO東日本	12月16日	11:45	12月16日	23:40	11:55	予防的通行止め	0
E46	秋田自動車道	下	北上西IC	湯田IC	21.6	NEXCO東日本	12月16日	17:11	12月16日	23:40	6:29	スタック車両発生	18
E46	秋田自動車道	上	北上西IC	湯田IC	21.6	NEXCO東日本	12月16日	18:02	12月16日	23:40	5:38	予防的通行止め	0
E48	山形自動車道	上下	宮城川崎	山形蔵王	25.1	NEXCO東日本	12月17日	8:45	12月17日	12:25	3:40	吹雪	0
R48	国道48号	上下	仙台市(26.8kp)	東根市(46.0kp)	19.2	東北地整 仙台・山形	12月17日	15:00	12月18日	19:00	4:00	予防的通行止め	0
R113	国道113号	上下	小国町(79.5kp付近)		-	東北地整	12月14日	22:10	12月15日	1:00	2:50	倒木処理	約2km
R113	国道113号	上下	89.6kp	106.6kp	17.0	東北地整	12月15日	5:00	12月15日	8:30	3:30	予防的通行止め	不明
E17	関越自動車道	下	水上IC	湯沢IC	26.0	NEXCO東日本	12月17日	5:40	12月19日	21:30	63:50	予防的通行止め	0
E17	関越自動車道	上	小出IC	湯沢IC	37.4	NEXCO東日本	12月17日	10:20	12月19日	17:30	55:10	予防的通行止め	0
E17	関越自動車道	下	六日町IC	小出IC	17.5	NEXCO東日本	12月17日	10:20	12月19日	17:30	55:10	予防的通行止め	0
E17	関越自動車道	上	湯沢IC	水上IC	26.0	NEXCO東日本	12月17日	16:10	12月19日	18:45	50:35	スタック車両発生	350
E17	関越自動車道	下	湯沢IC	六日町IC	19.9	NEXCO東日本	12月17日	19:20	12月19日	17:30	46:10	スタック車両発生	1,750
E18	上信越自動車道	上下	上越高田IC	中郷IC	26.5	NEXCO東日本	12月17日	1:55	12月17日	13:00	11:05	予防的通行止め	0
E18	上信越自動車道	上下	中郷IC	妙高原IC	12.0	NEXCO東日本	12月17日	1:55	12月17日	17:10	15:15	予防的通行止め	0

※国土交通省、高速道路会社調べによる速報値

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
E5	道央自動車道	上下	長万部IC	豊浦IC	33.8	NEXCO東日本	1月7日	21:50	1月8日	7:30	9:40	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	大沼公園IC	長万部IC	78.7	NEXCO東日本	1月8日	2:35	1月8日	7:30	4:55	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	札幌IC	岩見沢IC	31.9	NEXCO東日本	1月8日	4:20	1月8日	8:15	3:55	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	三笠IC	美瑛IC	11.3	NEXCO東日本	1月8日	11:52	1月8日	14:00	2:08	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	岩見沢IC	三笠IC	9.9	NEXCO東日本	1月8日	12:06	1月8日	13:00	0:54	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	美瑛IC	奈井江砂川	13.6	NEXCO東日本	1月8日	12:45	1月8日	14:00	1:15	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	滝川IC	旭川鷹栖IC	44.6	NEXCO東日本	1月9日	7:10	1月9日	14:00	6:50	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	旭川鷹栖IC	士別剣淵IC	45.8	NEXCO東日本	1月9日	7:30	1月9日	11:00	3:30	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	奈井江砂川IC	滝川IC	14.0	NEXCO東日本	1月9日	8:30	1月9日	14:00	5:30	吹雪	0
E5	道央自動車道	上	美瑛IC	奈井江砂川IC	13.6	NEXCO東日本	1月9日	17:33	1月9日	19:25	1:52	交通事故	0
E5	道央自動車道	上下	奈井江砂川IC	滝川IC	14.0	NEXCO東日本	1月10日	12:00	1月10日	15:40	3:40	吹雪	0
E5	道央自動車道	下	旭川北IC	和寒IC	10.7	NEXCO東日本	1月10日	13:20	1月10日	13:50	0:30	交通事故	0
E5	道央自動車道	上下	江別東IC	美瑛IC	36.9	NEXCO東日本	1月10日	15:00	1月10日	18:10	3:10	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	美瑛IC	奈井江砂川IC	13.6	NEXCO東日本	1月10日	15:15	1月10日	15:40	0:25	吹雪	0
E5	道央自動車道	上下	江別西IC	江別東IC	9.6	NEXCO東日本	1月10日	15:50	1月10日	18:10	2:20	吹雪	0
E5	道央自動車道	B	奈井江砂川IC		ランブ	NEXCO東日本	1月10日	16:36	1月10日	18:10	1:34	故障車	0
E5	道央自動車道	下	深川IC	旭川鷹栖IC	26.7	NEXCO東日本	1月12日	9:40	1月12日	11:25	1:45	交通事故	0
E5A	札幌自動車道	上	銭函IC	小樽JCT	14.7	NEXCO東日本	1月7日	12:15	1月7日	13:15	1:00	交通事故	0
E5A	札幌自動車道	上	銭函IC	小樽JCT	14.7	NEXCO東日本	1月9日	15:55	1月9日	18:40	2:45	交通事故	0
E5A	後志自動車道	上	小樽JCT	小樽塩谷IC	14.3	NEXCO東日本	1月7日	12:15	1月7日	13:15	1:00	交通事故	0
E5A	後志自動車道	上	余市IC	小樽塩谷IC	9.0	NEXCO東日本	1月8日	15:02	1月8日	16:15	1:13	故障車	0
E5A	後志自動車道	下	余市IC	小樽塩谷IC	9.0	NEXCO東日本	1月8日	15:02	1月8日	16:00	0:58	故障車	0
E5A	後志自動車道	上	小樽JCT	小樽塩谷IC	14.3	NEXCO東日本	1月9日	15:55	1月9日	18:40	2:45	交通事故	0
E38	道東自動車道	上下	千歳東IC	夕張IC	29.5	NEXCO東日本	1月8日	5:50	1月8日	10:00	4:10	吹雪	0
E38	道東自動車道	上	音更帯広IC	池田IC	21.6	NEXCO東日本	1月8日	11:22	1月8日	12:15	0:53	故障車	0
E38	道東自動車道	下	夕張IC	むかわ穂別IC	14.4	NEXCO東日本	1月9日	0:47	1月9日	1:05	0:18	交通事故	0
E38	道東自動車道	下	音更帯広IC	池田	21.6	NEXCO東日本	1月13日	15:43	1月13日	16:55	1:12	交通事故	0
E39	旭川紋別道	上	丸瀬布IC	遠軽IC	17.1	北海道 網走	1月8日	8:35	1月8日	12:00	3:25	交通事故	0
E39	旭川紋別道	上下	白滝IC	遠軽IC	33.6	北海道 網走	1月8日	12:00	1月8日	18:00	6:00	大雪	0
E62	深川留萌道	上下	深川西IC	北竜ひまわりIC	22.4	北海道 札幌	1月9日	6:50	1月9日	19:30	12:40	吹雪	0
E62	深川留萌道	上下	深川西IC	北竜ひまわりIC	22.4	北海道 札幌	1月10日	12:30	1月10日	20:40	8:10	吹雪	0
E62	深川留萌自動車道	上下	深川JCT	深川西IC	4.4	NEXCO東日本	1月9日	7:10	1月9日	14:00	6:50	吹雪	0
E63	日高自動車道	上下	沼ノ端西IC	日高厚賀IC	55.6	北海道 室蘭	1月8日	4:20	1月8日	11:00	6:40	吹雪	0
R44	国道44号	上下	釧路市別保原野	厚岸町白浜	33.3	北海道 釧路	1月8日	7:00	1月8日	10:30	3:30	吹雪	0
R240	国道240号	上下	釧路市阿寒町仲町	釧路市阿寒町富士見	5.9	北海道 釧路	1月7日	15:15	1月7日	18:10	2:55	交通事故	0
R243	国道243号	上下	標茶町虹別原野	別海町西春別	18.3	北海道 釧路	1月8日	3:30	1月8日	10:00	6:30	吹雪	0
R244	国道244号	上下	標茶町茶志骨	別海町床丹	19.8	北海道 釧路	1月8日	5:00	1月8日	9:00	4:00	吹雪	0
R244	国道244号	上下	別海町床丹	別海町奥行	24.7	北海道 釧路	1月8日	7:00	1月8日	10:00	3:00	吹雪	0
R272	国道272号	上下	標茶町中チャンベツ原野	中標津町南中	44.5	北海道 釧路	1月8日	4:30	1月8日	9:00	4:30	吹雪	0
R334	国道334号	上下	斜里町ウトロ西	斜里町光陽町	34.0	北海道 網走	1月8日	9:00	1月8日	14:00	5:00	吹雪	0

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
E4	東北自動車道	上下	碓ヶ関IC	青森IC	48.9	NEXCO東日本	1月7日	21:30	1月8日	4:30	7:00	吹雪	0
E4	東北自動車道	上下	北北上江釣子IC	花巻IC	16.6	NEXCO東日本	1月7日	21:55	1月8日	1:30	3:35	吹雪	0
E4	東北自動車道	上下	安代IC	碓ヶ関IC	66.1	NEXCO東日本	1月7日	22:00	1月8日	4:30	6:30	吹雪	0
E4	東北自動車道	上下	花巻IC	安代IC	83.4	NEXCO東日本	1月7日	21:55	1月8日	3:25	5:30	吹雪	0
E4	東北自動車道	下	一関IC	平泉前沢IC	11.6	NEXCO東日本	1月8日	17:33	1月8日	19:20	1:47	交通事故	0
E4	東北自動車道	上	盛岡南IC	盛岡IC	7.0	NEXCO東日本	1月10日	16:55	1月10日	17:40	0:45	交通事故	0
E4A	青森自動車道	上下	青森JCT	青森東	15.9	NEXCO東日本	1月7日	21:30	1月8日	6:30	9:00	吹雪	0
E4A	青森自動車道	上下	青森中央IC	青森東IC	9.5	NEXCO東日本	1月8日	13:38	1月8日	15:50	2:12	故障車	0
E4A	青森自動車道	上下	青森中央IC	青森東IC	9.5	NEXCO東日本	1月10日	9:24	1月10日	11:50	2:26	故障車	0
E4A	八戸自動車道	上下	安代JCT	浄法寺IC	15.2	NEXCO東日本	1月7日	21:55	1月8日	3:25	5:30	吹雪	0
E4A	東北縦貫自動車道八戸線	下	東北IC	七戸IC	2.9	東北地整 青森	1月8日	4:00	1月8日	11:20	7:20	吹雪	5
E6	常磐自動車道	下	常磐富岡IC	南相馬IC	32.7	NEXCO東日本	1月7日	17:52	1月7日	19:50	1:58	故障車	0
E7	日本海東北自動車道	上	大内JCT	本荘IC	9.3	東北地整 秋田	1月7日	19:40	1月7日	20:30	0:50	故障車	0
E7	日本海東北自動車道	上下	象潟IC	岩城IC	47.8	東北地整 秋田	1月7日	20:30	1月8日	2:30	6:00	吹雪	0
E7	日本海東北自動車道	上	遊佐比子IC	酒田みなとIC	5.0	東北地整 酒田	1月9日	9:55	1月9日	12:05	2:10	交通事故	0
E7	日本海東北自動車道	下	大内IC下りオフラランプ	大内IC下りオフラランプ	—	東北地整 秋田	1月10日	18:31	1月10日	21:05	2:34	交通事故	0
E7	秋田自動車道	上下	能代南IC	二ツ井白神IC	17.0	東北地整 能代	1月7日	20:00	1月8日	2:30	6:30	吹雪	0
E7	秋田自動車道	上下	鶴沢IC	小坂北IC	42.1	東北地整 能代	1月7日	22:00	1月8日	5:00	7:00	吹雪	0
E7	秋田自動車道	上下	鷹巣IC	新井田真中IC	12.4	東北地整 能代	1月10日	20:00	1月10日	22:40	2:40	倒木処理	0
E13	湯沢横手道路	上下	湯沢IC	横手IC	13.5	NEXCO東日本	1月7日	21:00	1月8日	2:00	5:00	吹雪	0
E13	湯沢横手道路	上下	湯沢IC	横手IC	13.5	NEXCO東日本	1月12日	20:00	1月13日	5:00	9:00	予防的通行止め	0
E13	東北中央自動車道	上下	雄勝こまちIC	湯沢IC	13.3	東北地整 湯沢	1月7日	21:00	1月8日	2:00	5:00	吹雪	0
E13	東北中央自動車道	上下	上院内IC	下院内IC	4.0	東北地整 湯沢	1月7日	21:00	1月8日	2:30	5:30	吹雪	0
E13	東北中央自動車道	下	野黒沢ICオランプランブリロ	野黒沢ICオランプラン本線合流	0.3	東北地整 山形	1月8日	13:10	1月8日	14:18	1:08	交通事故	0
E13	東北中央自動車道	下	須川IC	三関IC	5.5	東北地整 湯沢	1月8日	22:16	1月9日	0:20	2:04	交通事故	約25
E13	東北中央自動車道	下	野黒沢ICオランプランブリロ	野黒沢ICオランプラン本線合流	0.3	東北地整 山形	1月9日	9:25	1月9日	10:27	1:02	交通事故	0
E13	東北中央自動車道	下	大石田村山IC	尾花沢IC	5.6	東北地整 山形	1月10日	15:05	1月10日	15:47	0:42	交通事故	19
E45	三陸沿岸道路	下	釜石中央IC	釜石西IC	4.1	東北地整 南三陸	1月7日	9:16	1月7日	10:00	0:44	交通事故	約140
E45	三陸沿岸道路	上	久慈北IC	久慈IC	3.2	東北地整 三陸	1月8日	10:13	1月8日	12:20	2:07	交通事故	110
E46	秋田自動車道	上下	秋田南IC	秋田中央IC	7.0	NEXCO東日本	1月7日	15:53	1月7日	18:15	2:22	交通事故	0
E46	秋田自動車道	上下	秋田南IC	能代南IC	63.4	NEXCO東日本	1月7日	20:00	1月8日	2:30	6:30	吹雪	0
E46	秋田自動車道	上下	大曲IC	秋田南IC	35.2	NEXCO東日本	1月7日	20:30	1月8日	2:30	6:00	吹雪	0
E46	秋田自動車道	上下	横手IC	大曲IC	20.9	NEXCO東日本	1月7日	22:00	1月8日	5:00	7:00	予防的通行止め	0
E46	秋田自動車道	上下	北上西IC	湯田IC	21.6	NEXCO東日本	1月10日	23:47	1月11日	0:40	0:53	路上障害物	0
E46	秋田自動車道	上	湯田IC	北上西IC	21.6	NEXCO東日本	1月11日	12:15	1月11日	13:25	1:10	故障車	0
E46	秋田自動車道	下	湯田IC	横手IC	20.3	NEXCO東日本	1月12日	18:22	1月12日	19:30	1:08	交通事故	0
E46	秋田自動車道	上	協和IC	大曲IC	23.9	NEXCO東日本	1月13日	11:00	1月13日	12:55	1:55	交通事故	0
E46	秋田自動車道	上下	湯田IC	横手IC	20.3	NEXCO東日本	1月13日	20:00	1月14日	5:00	9:00	予防的通行止め	0
E46	釜石自動車道	上下	花巻JCT	東和IC	11.4	NEXCO東日本	1月7日	21:55	1月8日	1:30	3:35	吹雪	0
E48	山形自動車道	下	山形JCT	寒河江IC	6.2	NEXCO東日本	1月7日	16:55	1月7日	17:25	0:30	故障車	0

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
E48	山形自動車道	上下	湯殿山IC	庄内あさひIC	9.3	NEXCO東日本	1月13日	20:00	1月14日	6:00	10:00	予防的通行止め	0
E64	津軽自動車道	上下	北浮田出入口	磐ヶ沢IC	3.8	東北地整	1月7日	20:30	1月8日	12:00	15:30	吹雪	0
E64	津軽自動車道	上下	浪岡出入口	つがる柏IC	19.4	東北地整	1月7日	20:55	1月8日	12:00	15:05	吹雪	0
R7	国道7号	下	酒田市(164.5kp)	酒田市(166.0kp)	1.5	東北地整	1月9日	6:06	1月9日	6:55	0:49	立ち往生車両	10
R13	国道13号	上	秋田市(301.4kp)	秋田市(301.1kp)	0.3	東北地整	1月8日	9:29	1月8日	9:36	0:07	立ち往生車両	50
R47	国道47号	上	戸沢村古口	戸沢村古口	約2km	東北地整	1月7日	7:27	1月7日	7:59	0:32	立ち往生車両	約2km
R4	国道4号	上	二本松市(250.5kp)	二本松市(250.0kp)	0.5	東北地整	1月8日	21:15	1月8日	22:40	1:25	交通事故	約90
R112	国道112号	上下	寒河江市(29.8kp)	寒河江市(30.1kp)	0.3	東北地整	1月9日	19:38	1月9日	23:02	3:24	交通事故	0
E6	常磐自動車道	上	柏IC	流山IC	4.7	NEXCO東日本	1月13日	4:14	1月13日	8:05	3:51	交通事故	0
E6	常磐自動車道	下	柏IC	流山IC	4.7	NEXCO東日本	1月13日	4:14	1月13日	5:14	1:00	交通事故	0
CA	東京湾775号	上下	川崎浮島JCT	木更津金田IC	15.4	NEXCO東日本	1月7日	10:30	1月7日	20:05	9:35	強風	0
CA	東京湾775号連絡道	上下	袖ヶ浦IC	木更津金田IC	3.9	NEXCO東日本	1月7日	10:30	1月7日	20:05	9:35	強風	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟中央JCT	新潟亀田IC	3.3	NEXCO東日本	1月7日	17:00	1月7日	19:10	2:10	強風	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟亀田IC	荒川胎内IC	43.2	NEXCO東日本	1月7日	17:50	1月7日	19:10	1:20	強風	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟中央JCT	新潟亀田IC	3.3	NEXCO東日本	1月7日	19:10	1月8日	5:00	9:50	吹雪	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟亀田IC	荒川胎内IC	43.2	NEXCO東日本	1月7日	19:10	1月8日	6:50	11:40	吹雪	0
E7	日本海東北自動車道	上下	河辺JCT	岩城IC	16.8	NEXCO東日本	1月7日	20:30	1月8日	2:30	6:00	吹雪	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟中央JCT	荒川胎内IC	46.5	NEXCO東日本	1月8日	20:40	1月9日	6:40	10:00	吹雪	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟中央JCT	新潟亀田IC	3.2	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月9日	21:30	14:50	予防的通行止め	0
E7	日本海東北自動車道	上下	新潟亀田IC	聖籠新発田IC	22.3	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月12日	9:00	74:20	予防的通行止め	0
E7	日本海東北自動車道	上下	聖籠新発田	荒川胎内IC	20.9	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月12日	15:55	81:15	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	B・D	米山IC出口閉鎖			NEXCO東日本	1月7日	15:20	1月7日	17:45	2:25	並行国道通行止め	0
E8	北陸自動車道	上下	柿崎IC	柏崎IC	23.3	NEXCO東日本	1月7日	15:40	1月7日	18:15	2:35	強風	0
E8	北陸自動車道	上下	三条燕IC	新潟中央JCT	30.0	NEXCO東日本	1月7日	16:30	1月7日	19:10	2:40	強風	0
E8	北陸自動車道	上下	柿崎IC	柏崎IC	23.3	NEXCO東日本	1月7日	18:15	1月8日	13:35	19:20	吹雪	0
E8	北陸自動車道	上下	中之島見附IC	三条燕IC	15.3	NEXCO東日本	1月7日	18:15	1月8日	5:00	10:45	吹雪	0
E8	北陸自動車道	上下	西山IC	中之島見附IC	24.3	NEXCO東日本	1月7日	18:15	1月8日	6:00	11:45	吹雪	0
E8	北陸自動車道	上下	柏崎IC	西山IC	10.7	NEXCO東日本	1月7日	18:15	1月8日	13:35	19:20	吹雪	0
E8	北陸自動車道	上	武生IC	鯖江IC	5.4	NEXCO中日本	1月7日	18:30	1月8日	2:30	8:00	交通事故	約200
E8	北陸自動車道	上下	三条燕IC	新潟中央JCT	30.0	NEXCO東日本	1月7日	19:10	1月8日	5:00	9:50	吹雪	0
E8	北陸自動車道	上下	敦賀IC	武生IC	34.0	NEXCO中日本	1月7日	21:00	1月8日	5:30	8:30	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	上	敦賀IC	木之本IC	13.8	NEXCO中日本	1月7日	21:00	1月8日	6:00	9:00	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	下	長浜IC	敦賀IC	23.2	NEXCO中日本	1月7日	21:00	1月8日	6:00	9:00	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	上下	金沢森本IC	小矢部IC	14.4	NEXCO中日本	1月7日	23:00	1月8日	6:00	7:00	スタック車両発生	0
E8	北陸自動車道	0	糸魚川IC		ランブ	NEXCO東日本	1月8日	10:45	1月8日	14:10	3:25	交通事故	0
E8	北陸自動車道	上下	西山IC	三条燕IC	39.6	NEXCO東日本	1月8日	12:30	1月8日	18:00	5:30	交通事故	0
E8	北陸自動車道	上下	糸魚川IC	上越IC	39.5	NEXCO東日本	1月8日	15:55	1月8日	18:30	2:35	交通事故	0
E8	北陸自動車道	下	糸魚川IC	上越IC	39.5	NEXCO東日本	1月8日	18:30	1月13日	1:30	103:00	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	上	糸魚川IC	上越IC	39.5	NEXCO東日本	1月8日	18:30	1月13日	2:30	104:00	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	上下	朝日IC	糸魚川IC	29.8	NEXCO東日本	1月8日	18:30	1月12日	8:45	86:15	予防的通行止め	0

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長(km)	道路管理者	通行止め開始日	通行止め開始時刻	通行止め終了日	通行止め終了時刻	通行止め延べ時間	通行止め理由	最大滞留台数
E8	北陸自動車道	上	三条燕IC			中之島見附IC	1月8日	18:47	1月8日	21:05	2:18	交通事故	0
E8	北陸自動車道	上下	三条燕IC			新潟中央JCT	1月8日	21:00	1月9日	6:40	9:40	吹雪	0
E8	北陸自動車道	上下	三条燕IC			新潟中央JCT	1月9日	6:40	1月9日	21:30	14:50	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	下	上越IC			柿崎IC	1月8日	21:00	1月13日	9:30	108:30	交通事故	0
E8	北陸自動車道	上	上越IC			柿崎IC	1月8日	21:00	1月13日	10:30	109:30	交通事故	0
E8	北陸自動車道	上下	小杉IC			滑川IC	1月9日	7:55	1月9日	12:00	4:05	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	上	滑川IC			朝日IC	1月9日	7:55	1月12日	6:00	70:05	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	下	滑川IC			朝日IC	1月9日	7:55	1月12日	7:30	71:35	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	C	柿崎IC				1月9日	11:15	1月9日	14:40	3:25	スタック車両発生	44
E8	北陸自動車道	上	福井IC			丸岡IC	1月9日	11:40	1月12日	6:00	66:20	交通事故	約100
E8	北陸自動車道	上下	柿崎IC			柏崎IC	1月9日	14:40	1月10日	13:30	22:50	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	G・H	柿崎IC				1月9日	16:28	1月9日	18:50	2:22	スタック車両発生	80
E8	北陸自動車道	下	福井IC			福井北IC	1月9日	23:25	1月12日	6:00	54:35	故障車	約600
E8	北陸自動車道	下	武生IC			福井IC	1月10日	1:05	1月12日	6:00	52:55	予防的通行止め	0
E8	北陸自動車道	上	丸岡IC			加賀IC	1月10日	10:00	1月12日	6:00	44:00	スタック車両発生(10出口～般道側)	約600
E8	北陸自動車道	下	福井北IC			加賀IC	1月10日	10:10	1月12日	6:00	43:50	スタック車両発生(10出口～般道側)	約300
E8	北陸自動車道	C	柿崎IC				1月11日	2:35	1月11日	3:20	0:45	スタック車両発生	2
E8	北陸自動車道	上下	三条燕IC			新潟中央JCT	1月11日	18:20	1月11日	23:05	4:45	霧	0
E17	関越自動車道	上下	長岡IC			長岡JCT	1月7日	18:15	1月8日	6:00	11:45	吹雪	0
E17	関越自動車道	上下	小出IC			長岡IC	1月7日	19:10	1月7日	21:40	2:30	吹雪	0
E17	関越自動車道	上	湯沢IC			水上IC	1月7日	23:12	1月8日	0:15	1:03	交通事故	0
E17	関越自動車道	上下	小出IC			湯沢IC	1月8日	0:20	1月8日	4:00	3:40	吹雪	0
E17	関越自動車道	上下	塩沢石打IC			小出IC	1月8日	9:00	1月8日	13:20	4:20	交通事故	0
E17	関越自動車道	上下	塩沢石打IC			小出IC	1月8日	13:20	1月8日	16:35	3:15	予防的通行止め	0
E17	関越自動車道	D	長岡IC				1月8日	9:56	1月8日	12:30	2:34	スタック車両発生	1
E17	関越自動車道	上下	長岡IC			長岡JCT	1月8日	12:30	1月8日	18:00	5:30	交通事故	0
E17	関越自動車道	上下	小平谷IC			長岡IC	1月9日	18:15	1月9日	19:20	1:05	交通事故	0
E17	関越自動車道	下	小平谷IC			長岡IC	1月11日	22:08	1月12日	0:50	2:42	交通事故	0
E17	関越自動車道	下	嵐山小川IC			花園IC	1月13日	3:21	1月13日	8:40	5:19	交通事故	0
E18	上信越自動車道	上下	上越高田IC			上越JCT	1月8日	15:55	1月8日	18:30	2:35	交通事故	0
E18	上信越自動車道	上下	妙高高原IC			上越高田IC	1月8日	17:45	1月13日	9:30	111:45	予防的通行止め	0
E18	上信越自動車道	上下	上越高田IC			上越JCT	1月8日	18:30	1月13日	23:45	125:15	予防的通行止め	0
E27	舞鶴若狭自動車道	上下	若狭美浜IC			敦賀JCT	1月7日	21:00	1月8日	6:00	9:00	予防的通行止め	0
E41	東海北陸自動車道	上下	五箇山IC			福光IC	1月7日	18:00	1月8日	4:30	10:30	予防的通行止め	0
E41	東海北陸自動車道	上下	白鳥IC			莊川IC	1月9日	16:30	1月10日	15:00	22:30	予防的通行止め	0
E41	東海北陸自動車道	上下	福光IC			小矢部砺波JCT	1月9日	19:00	1月11日	21:00	50:00	スタック車両発生	約200
E41	能越自動車道	上下	高岡IC			氷見IC	1月9日	12:30	1月11日	18:30	6:00	立ち往生車両	75
E49	磐越自動車道	上下	津川IC			安田IC	1月7日	17:00	1月7日	19:10	2:10	強風	0
E49	磐越自動車道	上下	安田IC			新潟中央IC	1月7日	17:00	1月7日	19:10	2:10	強風	0
E49	磐越自動車道	上下	津川IC			安田IC	1月7日	19:10	1月8日	1:30	6:20	吹雪	0

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長(km)	道路管理者	通行止め開始日	通行止め開始時刻	通行止め終了日	通行止め終了時刻	通行止め延べ時間	通行止め理由	最大滞留台数
E49	磐越自動車道	上下	安田IC	新潟中央IC	23.4	NEXCO東日本	1月7日	19:10	1月8日	5:00	9:50	吹雪	0
E49	磐越自動車道	上	磐梯熱海IC	猪苗代磐梯高原IC	18.0	NEXCO東日本	1月7日	19:40	1月7日	19:30	0:20	交通事故	0
E49	磐越自動車道	上	猪苗代磐梯高原IC	会津若松IC	20.0	NEXCO東日本	1月7日	19:40	1月8日	8:35	12:55	吹雪	0
E49	磐越自動車道	下	磐梯熱海IC	会津若松IC	20.0	NEXCO東日本	1月7日	19:40	1月8日	8:35	12:55	吹雪	0
E49	磐越自動車道	D	津川IC		ランブ	NEXCO東日本	1月8日	12:26	1月8日	14:00	1:34	スタック車両発生	0
E49	磐越自動車道	上下	津川IC	新潟IC	32.3	NEXCO東日本	1月8日	14:10	1月9日	6:40	16:30	吹雪	0
E49	磐越自動車道	上下	新潟IC	新潟中央IC	13.4	NEXCO東日本	1月8日	20:10	1月9日	6:40	10:30	吹雪	0
E49	磐越自動車道	上下	新潟中央IC	新潟中央IC	0.8	NEXCO東日本	1月8日	21:00	1月9日	6:40	9:40	吹雪	0
E49	磐越自動車道	上下	津川IC	安田IC	22.7	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月9日	21:00	14:20	予防的通行止め	0
E49	磐越自動車道	上下	安田IC	新潟IC	9.6	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月9日	21:30	14:50	予防的通行止め	0
E49	磐越自動車道	上下	新潟IC	新潟中央IC	13.4	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月9日	21:30	14:50	予防的通行止め	0
E49	磐越自動車道	上下	新潟中央IC	新潟中央IC	0.8	NEXCO東日本	1月9日	6:40	1月9日	21:30	14:50	予防的通行止め	0
E49	磐越自動車道	下	船引三春IC	郡山東IC	8.0	NEXCO東日本	1月9日	17:42	1月9日	20:45	3:03	交通事故	50
E49	磐越自動車道	上	新潟IC	新潟中央IC	13.4	NEXCO東日本	1月10日	15:00	1月10日	18:30	3:30	交通事故	40
E49	磐越自動車道	下	新潟IC	新潟中央IC	13.4	NEXCO東日本	1月10日	15:00	1月10日	17:30	2:30	交通事故	0
E49	磐越自動車道	上	新潟中央IC	新潟IC	13.4	NEXCO東日本	1月11日	17:30	1月11日	17:40	0:10	故障車	0
R8	国道8号	上下	上越市石橋	上越市国府	1.0	北陸地整	1月9日	21:30	1月10日	7:30	10:00	立ち往生車両	150
R8	国道8号	上下	富山市中島	富山市手屋	4.6	北陸地整	1月9日	1:20	1月9日	6:00	4:40	立ち往生車両	850
R8	国道8号	上下	加賀市熊坂町	福井県境	3.3	北陸地整	1月10日	10:00	1月11日	16:20	6:20	積雪	0
R8	国道8号	上下	糸魚川市能生	糸魚川市市振	36.0	北陸地整	1月11日	18:05	1月12日	7:00	12:55	積雪	539
R17	国道17号	上下	南魚沼市浦佐		0.4	北陸地整	1月8日	11:25	1月8日	14:00	2:35	立ち往生車両	594
E67	中部縦貫自動車道	上下	上志比IC	大野IC	16.8	近畿地整	1月8日	14:00	1月9日	8:00	18:00	予防的通行止め	0
E67	中部縦貫自動車道	上下	福井北JCT・IC	松岡IC	1.9	近畿地整	1月9日	13:00	1月13日	12:00	95:00	予防的通行止め	2
E67	中部縦貫自動車道	上下	松岡IC	永平寺参道IC	2.1	近畿地整	1月9日	13:00	1月12日	6:00	65:00	予防的通行止め	0
E67	中部縦貫自動車道	上下	永平寺参道IC	上志比IC	6.7	近畿地整	1月9日	13:00	1月12日	17:00	76:00	予防的通行止め	39
E67	中部縦貫自動車道	上下	上志比IC	大野IC	15.7	近畿地整	1月9日	13:00	1月13日	12:00	95:00	予防的通行止め	0
R8	国道8号	上下	玄女南交差点	石川県境(牛ノ谷)	11.2	近畿地整	1月10日	20:00	1月11日	20:50	24:50	予防的通行止め	約15.5km
E2A	中国道	上下	六日市IC	戸河内IC	43.2	NEXCO西日本	1月7日	12:30	1月8日	12:00	23:30	予防的通行止め	0
E2A	中国道	上下	六日市IC	徳地IC	43.8	NEXCO西日本	1月7日	20:30	1月11日	9:52	85:22	予防的通行止め	0
E2A	中国道	上下	徳地IC	山口IC	20.0	NEXCO西日本	1月7日	20:30	1月10日	19:29	70:59	予防的通行止め	0
E2A	中国道	上下	山口IC	下関JCT	51.7	NEXCO西日本	1月8日	3:40	1月9日	17:04	37:24	予防的通行止め	0
E2	山陽道	上下	山口南IC	山口JCT	6.1	NEXCO西日本	1月8日	3:40	1月9日	17:07	37:27	予防的通行止め	0
E2	山陽道	上	熊毛IC	山口南IC	54.3	NEXCO西日本	1月8日	3:50	1月8日	9:45	5:55	予防的通行止め	0
E2	山陽道	下	熊毛IC	山口南IC	54.3	NEXCO西日本	1月8日	3:50	1月8日	11:04	7:14	予防的通行止め	0
E9	山陰道	上	出雲多伎IC	大田中央・三瓶山IC	15.3	中国地整	1月9日	16:17	1月9日	18:07	1:50	交通事故	0
E29	鳥取自動車道	下	智頭IC	用瀬IC	15.0	中国地整	1月11日	11:50	1月11日	12:30	0:40	交通事故	65
E54	尾道松江自動車道	上下	三次東IC	三刀屋木次IC	60.6	中国地整	1月7日	10:00	1月10日	17:30	79:30	積戻不良	0
E74	浜田道	上	浜田IC	大朝IC	44.0	NEXCO西日本	1月9日	16:27	1月9日	23:10	6:43	交通事故	46
E74	浜田道	下	旭IC	大朝IC	26.6	NEXCO西日本	1月9日	16:47	1月9日	23:10	6:23	交通事故	0
R2	国道2号	上	宇都市吉見	宇都市吉見	3.5	中国地整	1月8日	11:42	1月8日	12:10	0:28	立ち往生車両	16

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
R2	国道2号	上	宇都市吉見	宇都市吉見	3.5	中国地整	山口	1月8日	23:55	1月9日	5:00	立ち往生車両	3
R9	国道9号	上下	鳥取市白兔	鳥取市白兔	0.8	中国地整	鳥取	1月7日	14:00	1月7日	15:21	交通事故	200
R9	国道9号	上	山口市宮野上	山口市宮野上	0.3	中国地整	山口	1月8日	15:11	1月8日	16:00	立ち往生車両	220
R9	国道9号	上下	鹿足郡津和野町	鹿足郡津和野町	0.1	中国地整	浜田	1月11日	11:18	1月11日	11:31	交通事故	0
R54	国道54号	上下	三次市布野町	雲南市掛合町	56.0	中国地整	松江・三次	1月7日	16:30	1月7日	20:30	予防的通行止め	300
E32	徳島道	上下	脇町IC	井川池田IC	32.6	NEXCO西日本	日本	1月9日	4:40	1月10日	12:00	予防的通行止め	0
E32	徳島道	上下	土成IC	脇町IC	18.8	NEXCO西日本	日本	1月9日	4:40	1月9日	15:00	予防的通行止め	0
E32	徳島道	上下	井川池田IC	川之江東JCT	21.5	NEXCO西日本	日本	1月9日	4:40	1月9日	13:20	予防的通行止め	0
E32	徳島道	上下	土成IC	脇町IC	18.8	NEXCO西日本	日本	1月10日	3:50	1月10日	12:00	予防的通行止め	0
E56	松山道	上下	宇和島南IC	津島岩松IC	11.3	四国地整	大洲	1月8日	7:45	1月10日	17:00	積雪	0
E56	松山道	上下	西予宇和IC	宇和島南IC	22.5	四国地整	大洲	1月8日	20:50	1月10日	12:35	積雪	0
E56	松山道	上下	伊予IC	大洲IC	32.1	NEXCO西日本	日本	1月9日	3:30	1月9日	11:30	予防的通行止め	0
E56	松山道	上下	大洲IC	大洲北IC	0.9	四国地整	大洲	1月9日	3:30	1月9日	11:30	ネクスコ区間通行止めに伴う	0
E56	松山道	上下	大洲北只IC	西予宇和IC	15.7	NEXCO西日本	日本	1月9日	4:30	1月9日	14:00	予防的通行止め	0
E56	松山道	上下	大洲南IC	大洲北只IC	0.5	四国地整	大洲	1月9日	4:30	1月9日	14:00	ネクスコ区間通行止めに伴う	0
E56	松山道	上下	伊予IC	大洲IC	32.1	NEXCO西日本	日本	1月9日	23:10	1月10日	12:25	予防的通行止め	0
E56	松山道	上下	大洲IC	大洲北IC	0.9	四国地整	大洲	1月9日	23:10	1月10日	12:25	ネクスコ区間通行止めに伴う	0
E56	松山道	上下	大洲北只IC	西予宇和IC	15.7	NEXCO西日本	日本	1月9日	23:40	1月10日	12:25	予防的通行止め	0
E56	松山道	上下	大洲南IC	大洲北只IC	0.5	四国地整	大洲	1月9日	23:40	1月10日	12:25	ネクスコ区間通行止めに伴う	0
E56	松山道	上下	大洲北只IC	西予宇和IC	15.7	NEXCO西日本	日本	1月10日	23:10	1月11日	6:15	予防的通行止め	0
E56	松山道	上下	大洲南IC	大洲北只IC	0.5	四国地整	大洲	1月10日	23:10	1月11日	6:15	ネクスコ区間通行止めに伴う	0
E56	中村宿毛道路	上下	四万十IC	平田IC	20.7	四国地整	中村	1月7日	23:00	1月10日	19:30	積雪	0
E56	中村宿毛道路	上下	平田IC	宿毛和田IC	20.7	四国地整	中村	1月7日	23:00	1月10日	15:30	積雪	0
E3	九州道	上下	小倉東IC	八幡IC	18.0	NEXCO西日本	日本	1月7日	13:43	1月8日	16:32	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	八幡IC	古賀IC	26.4	NEXCO西日本	日本	1月7日	13:43	1月7日	18:00	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	門司IC	小倉東IC	13.3	NEXCO西日本	日本	1月7日	23:43	1月8日	10:42	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	福岡IC	久留米IC	51.3	NEXCO西日本	日本	1月8日	1:50	1月9日	15:39	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	久留米IC	八女IC	13.0	NEXCO西日本	日本	1月8日	1:50	1月8日	14:53	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	小倉東IC	八幡IC	18.0	NEXCO西日本	日本	1月8日	22:00	1月10日	14:01	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	久留米IC	みやま柳川IC	20.2	NEXCO西日本	日本	1月9日	0:40	1月9日	15:39	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	筑紫野IC (IC閉鎖)		-	NEXCO西日本	日本	1月9日	0:40	1月10日	12:26	予防的通行止め	0
E3	九州道	上下	福岡IC	八幡IC	51.3	NEXCO西日本	日本	1月9日	15:30	1月10日	14:01	予防的通行止め	0
E3A	南九州西回り自動車道	上下	出水IC	阿久根IC	14.4	九州地整	鹿児島	1月9日	4:00	1月9日	15:00	予防的通行止め	0
E3A	南九州西回り自動車道	上下	薩摩川内水引IC	市来IC	24.0	九州地整	鹿児島	1月9日	4:30	1月9日	13:00	予防的通行止め	0
E3A	南九州西回り自動車道	上下	市来IC	鹿児島西IC	21.3	NEXCO西日本	日本	1月9日	5:40	1月9日	12:57	予防的通行止め	0
E10	東九州道	上下	北九州JCT	苅田北九州空港IC	8.2	NEXCO西日本	日本	1月7日	13:43	1月8日	16:32	予防的通行止め	0
E10	東九州道	上下	苅田北九州空港IC	中津IC	35.4	NEXCO西日本	日本	1月7日	14:30	1月10日	16:30	予防的通行止め	0
E10	東九州道	上下	中津IC	別府IC	40.3	NEXCO西日本	日本	1月7日	18:40	1月8日	14:06	予防的通行止め	0
E10	東九州道	上下	北九州JCT	苅田北九州空港IC	8.2	NEXCO西日本	日本	1月8日	22:00	1月10日	14:01	予防的通行止め	0
E34	長崎道	上下	佐賀大和IC	嬉野IC	42.0	NEXCO西日本	日本	1月7日	18:00	1月10日	18:20	予防的通行止め	0

1/7～1/11の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
E34	長崎道	上下	鳥栖JCT	佐賀大和IC	26.6	NEXCO西日本	1月8日	1:50	1月10日	13:12	59:22	予防的通行止め	0
E34	長崎道	上下	嬉野IC	長崎IC	51.6	NEXCO西日本	1月8日	22:00	1月10日	9:48	35:48	予防的通行止め	0
E34	大分道	上下	玖珠IC	日出JCT	38.5	NEXCO西日本	1月7日	18:40	1月8日	14:06	19:26	予防的通行止め	0
E34	大分道	上下	日田IC	玖珠IC	24.7	NEXCO西日本	1月7日	20:45	1月8日	14:06	17:21	予防的通行止め	0
E34	大分道	上下	甘木IC	日田IC	30.6	NEXCO西日本	1月7日	21:40	1月10日	18:17	68:37	予防的通行止め	0
E34	大分道	上下	鳥栖JCT	筑後小郡	4.9	NEXCO西日本	1月8日	1:50	1月10日	13:12	59:22	予防的通行止め	0
E34	大分道	上下	筑後小郡	甘木IC	6.0	NEXCO西日本	1月8日	1:50	1月10日	18:17	64:27	予防的通行止め	0
E34	大分道	下	日田IC	天瀬高塚IC	13.4	NEXCO西日本	1月10日	4:04	1月10日	5:40	1:36	故障車	2
E35	西九州道	上下	武雄JCT	佐世保大塔IC	22.0	NEXCO西日本	1月7日	18:00	1月8日	17:18	23:18	予防的通行止め	0
E35	西九州道	上下	武雄JCT	佐世保大塔IC	22.0	NEXCO西日本	1月8日	20:53	1月10日	18:20	45:27	予防的通行止め	0
E35	西九州道	上下	佐世保大塔IC	佐世保中央IC	29.8	NEXCO西日本	1月8日	20:53	1月9日	16:45	19:52	予防的通行止め	0
E35	西九州道	上下	佐世保中央IC	佐々IC	9.0	九州地整 長崎	1月8日	21:20	1月9日	16:45	19:25	予防的通行止め	0
E96	長崎バイパス	上下	全線		15.1	NEXCO西日本	1月8日	6:40	1月8日	12:02	5:22	予防的通行止め	0
E96	長崎バイパス	上下	全線		15.1	NEXCO西日本	1月8日	22:00	1月10日	17:09	43:09	予防的通行止め	0
E97	日出バイパス	上下	日出IC	速見JCT	9.0	NEXCO西日本	1月7日	18:40	1月8日	14:06	19:26	予防的通行止め	0
R3	国道3号	上下	42.05	43.16	1.1	九州地整 北九州	1月7日	13:05	1月7日	14:05	1:00	立ち往生車両	約50
R3	国道3号黒崎BP	上下	八幡西区陣原	八幡東区東田	5.2	九州地整 北九州	1月8日	9:00	1月9日	17:00	8:00	積雪	0
R201	国道201号	上下	13.8	26.4	12.6	九州地整 福岡	1月8日	21:00	1月9日	7:00	10:00	予防的通行止め	0
R210	国道210号	上下	74.7	96.1	21.4	九州地整 大分	1月8日	17:30	1月9日	0:00	6:30	予防的通行止め	0

※国土交通省、高速道路会社調べによる速報値

1/23～1/24の高速道路及び直轄国道の通行止め一覧

路線番号	道路名	上下	区間(自)	区間(至)	延長 (km)	道路管理者	通行止め 開始日	通行止め 開始時刻	通行止め 終了日	通行止め 終了時刻	通行止め 延べ時間	通行止め 理由	最大滞留 台数
E20	中央自動車道	上下	大月JCT	一宮御坂IC	24.9	NEXCO中日本	1月24日	2:00	1月24日	15:00	13:00	予防的通行止め	0
E20・E68	中央自動車道 富士吉田線	上下	八王子JCT	都留IC	41.6	NEXCO中日本	1月24日	2:00	1月24日	15:00	13:00	予防的通行止め	0
E68	中央自動車道 富士吉田線	上下	都留IC	富士吉田IC	16.3	NEXCO中日本	1月24日	0:00	1月24日	15:00	15:00	予防的通行止め	0
E68	東富士五湖道路	上下	富士吉田IC	須走IC	19.0	NEXCO中日本	1月24日	0:00	1月24日	15:00	15:00	予防的通行止め	0
R138	国道138号	上下	山中湖村 (11.3kp)	山中湖村 (14.2kp)	2.9	関東地整 甲府	1月24日	0:00	1月24日	15:00	15:00	予防的通行止め	0
R138	国道138号	上下	南都留郡山中湖村	駿東郡小山町	8.2	中部地整 沼津	1月24日	0:00	1月24日	15:00	15:00	予防的通行止め	0

※国土交通省、高速道路会社調べによる速報値

令和2年12月関越自動車道 集中降雪に関する対応検討会

1. 検討会の設置目的

令和2年12月関越道集中降雪を契機として、集中降雪時における地域間交通確保のための対応について、沿線地域やドライバーなどからの幅広い声も活かしつつ、有識者からの提言をいただき、交通管理者、道路管理者を始めとする各行政機関等がさらなる連携を実施することにより、新潟県域の安全安心な地域間交通の提供につなげていくことを目的に本検討会を設置する。

2. 【有識者委員】（敬称略、五十音順）

おおつか あきら 大塚 晃 事業創造大学院大学 教授
（ICT・AI/電子情報通信学会 安全・安心な生活とICT研究専門委員会）
かみいし いさお 上石 勲 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター センター長
（雪氷全般/長岡市除雪イノベーション研究会、首都高防災連携協定など）
くりやま やすこ 栗山 靖子 株式会社BBS新潟 代表取締役
（コミュニケーション）
さの かずし 佐野 可寸志 長岡技術科学大学大学院 教授
（交通安全対策・渋滞対策/国土交通省冬期道路確保対策検討会など）
たむら けいこ 田村 圭子 新潟大学危機管理本部危機管理室兼災害・復興科学研究所 教授
（危機管理・災害福祉/国土審議会委員など）

3. 検討スケジュール（令和3年1月～）

以下の日程において検討を実施するものとする。

第1回 1月下旬 （1/27）
・ 今回の対応・当面の対応の現状把握
・ 中長期的な課題とその検討方法の整理
（沿線地域やドライバーなど、関係者の声の収集方法を含む）
第2回 2月中下旬 第1回内容の報告
第3回 3月中下旬 提言のとりまとめ